

ササルハ勿論他へ轉貸致ササル事

一返地御請求ニ對シテハ何時タリトモ異議ノ申立ヲ致ササル事但

月

日以後ノ返地ニ就テハ其年度分

ノ借地料金額支拂可申事

一左記連署ノモノハ各自連帶義務者トナリ本證ノ全責任ヲ負擔可致事

右借地證書仍而如件

年 月 日

郡 村 番地

借地人 何

某 印

郡 村 番地

保證人 何

某 印

郡 村 番地

保證人 何

某 印

何 某 殿

二九

一(不作時ノ小作料減額、小作料滞納ノ處置、契約更新)ノ小作地ニ係ル負擔、訴訟管轄裁判所、催告手数料

小作約定書

土地面積ノ表示

小作米 何石何斗何升 但シ何俵 壹俵四斗入目方十六貫餘

小作米納期毎年十一月二十日限ノ事

一、小作米ハ米質精々相改メ壹俵(四斗入)十六貫以上ノ者ヲ上納致シ若シ米質不良又ハ目方不足アルトキハ速カニ交換或ハ補填致スヘキコト

一、小作人納期ニ出來兼候節ハ保證人連帶小作人ト相成速ニ義務相果シ地主へ損害等相掛ケサルコト

一、土地近年増租ト相成小作米増加之處増加セサルニ付爾來凶作ト雖モ更ニ割引勘辨申出サルモノトス

一、小作人ノ都合ニ依リ米ニ代テ金納申出ル時ハ地主ノ定ムル其ノ時ノ相場ニ應シ金圓相納ムル事

一、毎年十二月ヨリ小作米金納ナルトキハ年壹割八歩ノ利息ヲ附スルコト

一、小作地毎年一月ヨリ十二月一日迄トシ麥蒔入ハ翌年小作地約定ニアラサレハ麥蒔入サルコト

一、小作證書ハ地主ノ都合ニ依リ毎年改メサルコト地主ヨリ小作地御斷リ相成ル時ハ應スルモノ



トス

- 一、小作地小普請ハ小作人負擔大普請地主ト協議ノ上着手スルコト
  - 一、地主ノ都合ニ依リ小作米變更アリタル時ハ其變更ニ應スヘシ
  - 一、堰浚道普請其田畑ニ直關係アルモノハ小作人負擔ノ事
  - 一、地主ノ都合ニヨリ返地請求相成候節ハ何時タリトモ可應事
  - 一、地主ヨリ粃ニテ請求相成時ハ粃壹升米五合摺ト見做シ米壹升目方四百目トス
  - 一、小作地小作米淹滯アルトキハ無論繼續小作仕サル而已ナラス地上ノ作地地主ノ隨意ナシ被下候トモ異議無之候事
  - 一、自分名義ニテ小作地他人ニ貸與セサルコト
  - 一、本件ニ關スル訴訟行爲ハ合意ヲ以テ貴殿所在地ヲ管轄スル裁判所ト特定ス
- 右ノ各項承諾ノ上前記土地小作仕候處實正也納期ニ相違ナク相納若シ催促ヲ受クル事アルトキハ一ケ度金貳十錢宛辨償仕貴殿ニ聊御損害相懸申間敷爲後日小作證書依テ如件

大正 年 月 日

郡 村 番地

小作人 何

某 印

郡 村 番地

連帶保證人 何

某 印

郡 村 番地

連帶保證人 何

某 印

郡 村 番地

何 某 殿

三〇

〔小作料ノ俵裝、小作米ノ品質、小作地使  
用制限、小作地ニ係ル負擔、契約解除〕

小作證書

小縣郡何村大字何字何何番

但シ 毛作地

此ノ小作米 何程

但シ壹升ノ量目參百九拾匁以上ヲ有スルモノナルヲ要ス



右土地ヲ前記ノ小作料ヲ以テ貴殿ヨリ拙者借受小作致ス可ク取極メ候ニ付左ノ各項ヲ約定ス

- 一 小作米納期ハ毎年拾貳月拾五日限リトス
- 一 小作地ハ地主ニ於テ必要ナル時ハ何時タリトモ直ニ返地可致候
- 一 小作米量目不足ノ際ハ升量増加若クハ物品取換等貴殿ノ指定ニ從ヘ可申候
- 一 封俵ノ量目ハバセ附壹貫匁トス
- 一 小作米ハ必スキあおリヲ行フ
- 一 折米、シイナ米、死米ヲ混入セサル事
- 一 不可抗力若クハ自己ノ過失ニヨリ品質粗悪ニ成リ小作米普通品ノ價格ニ達セサル時ハ其不足額ヲ辨償スルモノトス
- 一 小作米ハ田ニアリテハ其小作地ヨリ收穫シタルモノヲ以テ納ムルモノトス
- 一 壹毛作地ト定メタル土地ニ貳毛作ヲ成ス事ヲ得ス
- 一 左記ノ肥料ヲ施ス事ヲ得ス
  - 但シ地主ノ承諾ヲ得タル場合ハ此ノ限ニ非ス
- 一 左記ノ種類ハ小作米トナス事ヲ得ス
  - 一 關取 一 玉川 一 白玉川 一 愛國 一 神力 一 千葉籾
- 一 地主ノ承諾ナクシテ小作地ノ木石ヲ移轉若クハ取去ルヲ得ス及ヒ土地ノ形狀ヲ變スル事ヲ得ス

- 一 小作米ハ貳種類以上ヲ混スル事ヲ得ス
- 一 小作地ニ付キテノ役夫ハ小作人ノ負擔トス
- 一 小作權ヲ他ヘ讓與若クハ貸與スル事ヲ得ス
- 一 小作料不納及其他本契約ニ違背ノ爲メ生スル費用ハ總テ小作人ノ負擔トス
- 一 右各項ノ契約中其一項タリトモ違背ナシタル時ハ小作契約ハ通知ヲ發セスシテ直チニ無効ニ期スルモノトス

一 請人ハ本契約全部ヲ承認ナシ本人ト連帶ノ責任ヲ以テ履行可仕候  
 右契約候依而請人連署シテ小作證書差出申候也

大正 年 月 日

小縣郡	村	番地	某
小作人	何		甲
小縣郡	村	番地	某
請人	何		甲
小縣郡	村	番地	某
請人	何		甲



何 某殿

靜岡縣

三一

一(簡單ナルモノ)一

小作借地證書

一、散田米 何俵何斗何升也

此ノ地所 何郡何村何字何番地

此ノ坪數 何反何畝歩也

右者今般拙者儀都合ニ因リ前記ノ地所ヲ前記ノ散田米ニテ御貴殿へ御願ヒ御承諾ヲ得テ借地致シ候處實正也然ル上ハ毎年々々末限リ御支拂ヒ申可ク聊カタリトモ御貴殿ニハ御損毛相掛ケ中間敷萬一滞リ候節ハ保證人ニ於テ其ノ義務ヲ相果シ申可ク候爲後日保證人加判ノ證書差入レ置キ候段依

テ如件

年 月 日

郡村字 番地

借地人 何

某 ㊦

郡村字 番地

保證人 何

某 ㊦

郡村字

何 某殿

三一

一(契約解除)一

小作證

田畑反別

何程

小作料

何程



右之地所來ル大正 年ヨリ小作致シ左ノ條々了承借用仕候處相違無之候

- 一 耕作法ヲ疎略ニシ肥培種植ノ時節ヲ怠ル間敷事
- 一 米穀ヲ精撰シ干燥ヲ能クシ柵目ヲ改メ不良米ヲ相納メ申間敷事
- 一 俵ハ古藁ヲ用ヒ二重皮カマリト爲シ念入製造可致事
- 一 米納定日ハ 日ト定メ拾壹月ヨリ拾貳月ニ至ル米精撰出來次第相納メ可申事
- 一 違作ノ節ハ稻刈取前ニ於テ見分ヲ受ケ相當ノ對談ニ依リ引方ヲ受ケ穩便ニ致承諾可申無斷刈取以後ニ於テ決シテ引方申出間敷事
- 一 不納ノ節ハ連帶引受證人ニ於テ辨納致シ聊カ御損毛相掛申間敷事
- 一 小作人ノ都合ニ依リ地所返地致シ度節ハ其年拾貳月限り可願出地主ニ於テ必用ノ節ハ年ノ拾貳月限り返地御申談可有之事
- 一 小笠郡米作同業組合ノ規約相守可申事

右之條々屹度相守可申若シ相背キ候節ハ何時成共返地申付可被成決シテ違背仕間敷候爲後日小作證差出處爲件

大正 年 月 日

小笠郡 村 小作人 何 某

連帶引受證人 何 某

愛知縣

小笠郡 村 何 某殿

三三三

一(極メテ簡單ナルモノ)

借地小作證券

尾張國中島郡萩原村二百三十番南大畔

一、田 三畝二十步

此小作米 四斗六升二合

右田畑私借地小作仕リ候處實正也然ル上ハ毎年十二月二十日限り前頭小作米速ニ相納皆濟可仕候



尤モ貴殿右田御入用之節ハ何時ニテモ御沙汰次第速ニ返地可仕候爲後日如件  
明治十五年五月二日

尾張國中島郡萩原村

小作人 何

某 ㊦

何 某 殿

三四

（小作料滞納ノ處置、訴訟管轄裁判所）

連帶小作人掟米契約書

碧海郡明治村大字榎前字井杭山

一、郡村宅地三反一畝二十五步

此掟米

何程

但シ壹反歩ニ付壹石壹斗之約

一、田畑四町六反四畝貳歩

内等外參段歩

此掟米

何程

但壹段歩ニ付九斗之約等外ハ壹段歩ニ付六斗ノ約

一、畑壹段貳畝貳歩

此掟米

何程

但壹段歩ニ付六斗五升ノ約

一、山林壹段貳畝拾貳歩

此 米

何程

壹等貳升ノ約

合計五町貳段九歩

此掟米

何程

右掟米ハ上米ト定メ貴殿御所有ノ土地ハ拙者共連帶ニテ正ニ小作仕リ候就テ者左ノ契約致候事

一、掟米上納期限ハ毎年十二月廿八日限り貴殿ノ住所へ持參上納可致候事但期日ニ至リ延滞シタルトキハ前記掟米ヲ時價相場ヲ以テ金圓トナシ元金一圓ニ付一ヶ月壹錢宛利息相添可申候事

一、連帶借主ニ於テ此契約ニ違背シアル時ハ何時タリトモ借用土地全部返濟ノ要求ヲ受クヘキコトヲ認諾候事

一、前項ノ爲メ生スル貴殿ノ損害金ハ小作人拙者共ノ負擔ニシテ貴殿へ上納セシ時ハ該末ニ先チ控除セラルル事ヲ認諾致シ候事

一、本契約ニ關シ後日故障相生シ候節ハ貴殿住所ヲ管轄スル裁判所ト特定候事

一、連帶責任タル事ヲ承諾ノ上調印シタリ依テ連帶者ノ内不在者ヲ生シ又ハ何等ノ事故ニ關セズ



残留者ニ於テ一切ノ責ニ應スヘク候事

明治四十三年五月二十八日

碧海郡明治村大字榎前字井杭山番戸

連帶小作人 何

某 ⑩

同 郡同 村 同大字

番戸

同

何

某 ⑩

同 郡同 村 同大字

番戸

同

何

某 ⑩

碧海郡明治村大字東端

何 某 殿

三重縣

三五

(小作料納入ノ場所、契約更新)

小作受證券

國 郡 村大字 貴殿御所有地ノ内今般別紙明細書ノ通掬米ヲ以テ拙者へ借地小作受仕候處實正也然ル上ハ收穫ノ多寡ニ不拘上品米ヲ以テ入念ニ俵拵ニ仕十二月貳拾日限御沙汰ノ場所へ皆納米可仕候若皆納期限ヲ延滞シタルトキハ速ニ地所御引揚可被成候尤モ保證人ハ直チニ連帶債務者ト相成滞納米辨償可仕候且一期限ノ作離地ナレトモ不正ノ義有之敷又ハ臨時御入用等ノ節ハ何時御引揚被成候トモ毛頭故障無之候御氣ニ叶ヒ掬繼被下候節ハ何ケ年モ此證券御用ヒ可被下後年ニ至リ候トモ聊方相背キ申間敷候作受中地味變化或ハ地直シ等被成候節ハ御隨意ニ掬米増減可被成筈爲後日小作受證券仍テ如件

大正 年 月 日

國 郡 村大字

小作人 何

某 ⑩

國 郡 村大字

保證人 何

某 ⑩

何 某 殿

小作地明細表







- 一、小作地賣却セラレタル時ハ期間中ト雖無條件ニテ異議ナク返地致スヘシ
- 一、作地ニ桑木等植付アルモノハ該土地買受人ト合理的普通ノ代價ヲ以テ取引スルカ又ハ植替へ處分シ貴殿ニ御心配ヲ掛ケサル事
- 一、田普請ニ就テハ自己ノ不注意ニ基クモノハ自辨スヘシ
- 一、貴殿ノ御承諾ヲ得スシテ地目ヲ變換セサルヘシ
- 一、天災ノ場合ニハ稻作ニ限リ小作米ノ減額ヲ受クル事ヲ得他ノ地主ノ例ヲ以テ請求スル事ナシ
- 一、凶作ト認メタル時ハ小作人代表ヨリ書留郵便ヲ以テ其年十月中ニ貴殿ヘ毛見ヲ懇請スヘシ
- 一、施肥少ナク又ハ除草蟲害驅除ヲ怠リタル爲ノ不作ニ對シテハ其作人ノ責任タルハ勿論ニ候事
- 一、毛見ハ十一月中ニ之ヲ行ヒ左之方法ヲ用ユ
  - 右六名ノ委員ハ各自獨立ノ意思ヲ以テ各筆ノ反歩出來高ヲ申出ツ
  - 毛見セサル稻作ハ除外セラルルヲ法トス
  - 右六名ノ委員ノ毛見成績ヲ知ランカ爲メニ拾筆毎ニ御示ノ一回ノ坪刈ヲ行フ
  - 坪刈ハ公明ヲ旨トシ六名ノ委員ト貴殿ノ外立會フ事ヲ許サス
  - 稻草ノ種類ヲ問ハス扱ノ玄米率ヲ五分磨ノ割ヲ以テ算出スル事ト定ム
- 一、右方法ニヨリ坪刈セル田ノ反歩ノ有高ヲ知り六委員ノ何人カ合致セシヤヲ見ル最モ近キモノヲ以テ合致シタルモノト看做ス

- 一、坪刈ノ合致セシ度數ノ多キ委員ヲ信用シ其ノ委員ノ毛見有高ヲ眞ノ有高ト看做ス
- 一、同點ノ委員アル時ハ圖引ヲ以テ一人ヲ取ル
- 一、毛見ニ係リタルモノハ其分配反歩ニ付左ノ如シ
  - 貴殿ヘ租税ノ名目ヲ以テ第一ニ合格米壹俵作人ハ肥料ノ名目ヲ以テ第二ニ合格米壹俵殘額ヲ二分シ貴殿ト作人ト公平ニ折半ヲ以テ分配サル
  - 一、沼地ノ如キ裏作出來サル地ハ其分配反歩ニ付左ノ如シ
    - 貴殿ヘ租税ノ名目ニテ第一ニ合格米壹俵作人ヘ肥料ノ名目ニテ第二ニ合格米壹俵殘額ノ十分ノ四ヲ貴殿ヘ十分ノ六ヲ作人ヘ分配サル
  - 一、若シ反歩玄米三俵未滿ノ收穫ヨリ無キ事ヲ毛見ニ因テ認メラレタル時ハ其分配法左ノ如シ
    - 玄米三俵未滿二俵以上ノ時ハ貴殿ヘ租税ノ名目ヲ以テ三分ノ一ヲ分配シ殘額ヲ作人ヘ分配サル玄米二俵未滿一俵以上ノ時ハ貴殿ヘ租税ノ名目ヲ以テ五分ノ一ヲ分配シ殘額ヲ作人ヘ分配サル
    - 玄米一俵未滿ノ時ハ作人ノミ之レヲ取ル
  - 一、小作米ハ毎年十二月二十日迄ニ合格米ヲ以テ貴殿ヘ納ムヘシ
    - 三等米ヲ標準トシ三等米ニハ賞與ナシト雖一階級ヲ上ル毎ニ錦米ニ限リ金貳拾貳錢宛ノ賞與アルヘシ
    - 小粒米ニ對シテハ沼田ヲ除ク外賞與ヲ附セス且附スル場合ト雖極メテ僅少ナリトス
- 一、皆納税ノ制度無シ



一、小作米一年分ノ半額以上ヲ不納シタル小作人ハ強テ小作地ヲ引揚ケラルルモ異議申立テス  
 一、小作證ニハ必ス保證人ヲ立タシムヘシ小作引受中ハ畦畔ヲ守リ他ニ浸サレサル様注意スルノ義務アリ又  
 農業者ノ當然爲スヘキ勉強ト注意ヲ怠ラサルヘシ

一、小作事件ニ付不明ナル點アラハ貴殿ノ指名セラルル委員ヲ出津セシメ了解ヲ速カナラシムヘシ  
 右法則ニ據ラハ貴殿ノ御主旨ニ反セサルヘク私共モ満足ニ付右ノ條項誓約且ツ契約申處如斯

大正十二年十二月二十一日之レヲ定メ大正十三年度ヨリ之レヲ實行ス

大正十二年十二月二十三日

一志郡川口村

小作人

全部(九十名位)

連署

何 某殿

滋賀縣

三七

—(獎勵米)—

小作證書

岩根村大字正福寺字鞍馬第何番地

一反別 何反何畝何歩

此ノ小作米 何俵何斗何升

但近江米同業組合定款所定ノ検査濟乙米ニテ納付ノ定メニテ乙米以外ノ甲米ヲ納付シタルトキハ升ノ賞與  
 米ヲ申受ケ丙米ヲ納付ンタルトキハ損害賠償トシテ升ヲ納付スルモノニシテ凶作ノ場合ハ當字一般ノ例ニ  
 依ル

右ノ地所前記ノ小作米ヲ以テ大正十年一毛作ヨリ拙者請作仕候事確實也然ル上ハ小作米ノ儀ハ每  
 年十二月二十五日限り納付可仕候請作中ハ土地入念ニ保護可致ハ勿論小作米不納ノ場合ハ保證人  
 ニ於テ引受ケ辨償可致候決シテ御損毛相掛ケ申間敷候爲後日小作證依テ如件

大正 年 月 日

小作人 何

某

保證人 何

某

地主 何 某殿



土地小作契約證書

三八

（小作料滞納ノ處置、契約解除、訴訟管轄裁判所）

高島郡川上村大字深清水字八反田町八十二番地

一 田一反歩 此小作米三俵

右ノ土地ニ係ル小作契約證書雙方合意上左記條件ヲ以テ定ムルモノトス

- 一、小作米ハ四斗入改良検査合格米ヲ以テ毎年十二月二十日迄ニ年ノ豊凶ニ不拘全部完納スルコト
- 二、凶風水旱等大凶作ノ變災ヲ受ケ減米ノ願ヒヲ爲ス場合ニ於テモ必ラス全小作米ヲ完納シ貴殿ノ指圖ニヨリ毫モ異議ナカルヘシ若該地收穫米ニテ小作米額ニ不足スル時ハ他ヨリ補ヒ是ニ充テ全納スルコト
- 三、施肥耕作等ヲ怠リ或ハ手晩ヲ爲シ不行届ノ場合ニ於テハ何時ニ不拘返地ノ命ヲ受クルモ異議ナク直ニ應スヘシ
- 四、小作米納入ヲ怠リ或ハ貴殿ノ指定スル期日ニ完納セサルトキハ遲滞小作米ニ對シ相當遲延料米及違約金ヲ支拂フヘシ
- 五、小作權ヲ賣買讓與書入等ヲ爲スコト能ハサルノミナラス小作米納入ニ關シ舊來ノ習慣ハ致シ間敷事
- 六、該契約ヲ違背シ訴訟行爲ノ場合ハ其費用ハ總テ小作人ノ負擔タルコト

七、本契約ノ存續中左ノ事項ニ該當スル時ハ遲滞ナク貴殿ニ通知シ貴殿ノ指圖スル處ニヨリ保證人ヲ差入レ又ハ保證金ヲ立テ若クハ即時土地ヲ返還スル等渾テ貴殿ノ要求ニ應スヘシ

- 1 小作人及保證人身分資格ニ變動ヲ生シタルトキ
  - 2 債務ノ爲小作米上納ニ先チ他ヨリ假差押ヘ若クハ強制執行ヲ行フタルトキ
- 八、以上ニ關シ裁判ヲ要スル場合ハ其裁判籍ハ大津區裁判所若クハ大津地方裁判所トナス事ヲ合意セリ
- 九、小作人及保證人ハ署名捺印シテ本契約ノ責ニ任スヘシ

以上

大正八年三月二十五日

高島郡川上村大字深清水

小作人 何

某 印

高島郡川上村大字深清水

保證人 何

某 印

同 所

何 某 殿



小作證書

滋賀郡坂本村大字坂本第二百七十五番地字通尾田數四枚

一 田地 八畝十八步 元宛 一石三斗六升ノ處

當時宛米壹ヶ年分壹石參斗定免

右ノ地所今般小作仕候然ル上約定ノ條件ニ記載致候

一 表面小作米ノ儀ハ精撰致シ約定通り可相納ハ勿論就テハ貳斗以上端米ヲ納ムルニ於テモ其俵ヲ添へ毎年御定日御沙汰次第早速相納メ可申候事

一 小作米精撰法ハ一般御規約ノ通り良米ニ製選致シ相納メ可申候事

一 地所ノ儀ハ平素出精仕荒シ申サス候様注意可致候事

一 小作米萬一相滯候節ハ所持ノ物品ヲ以テ速ニ相辨時日無相違相納メ貴殿毛頭御損害相掛ケ申間敷候事

一 地所御入用ノ際ハ何時ニテモ御異議ナク御返戻可申候又右小作仕候上ハ此ノ他百事組内御規

約ノ通り確守聊無異議小作仕候爲後日確約書依テ如件

滋賀郡坂本村大字坂本第八番屋敷

明治 年 月 日

小作人 何

某 ㊦

地主 何 某 殿

大阪府

四〇

一(小作米俵裝、込米)一

借地小作證

大阪府島上郡三箇牧村大字柱本字河原第六百二十七番地

一、田 壹反貳畝七步

此宛米貳石〇八升



右地所貴殿御所有之處今般相對之上前記宛米ニテ本日ヨリ拙者へ正ニ借請小作致候處確實也依テ約定スル左ニ

一、前記宛米ハ品質ノ善良大粒ヲ精選シ貴殿ノ御検査ヲ受ケ相納可申宛米ハ口米(一石ニ付五升ノ割)ヲ込ミ斗樹量リ俵裝ハ四斗俵作り外皮及ヒ立繩四ツ掛等總テ貴殿指揮ニ隨ヒ可申候

一、小作宛米ハ毎年十一月三十日限り前記ノ米額貴殿へ持參相渡可申候尤宛米渡濟迄ハ質入書入賣却讓與使用等一切致問敷候

但シ非常災害ノ節ハ田ノ内ハ申ニ不及掘揚ケタリトモ鎌ヲ入レス立稻ノ儘御検査ヲ受而シテ小作納米高ノ指揮ヲ乞ヒ可申尤植附後培養ノ等閑肥料ノ不足且灌溉水不充分等自己ノ不行届アリ凶作ヲ來シタルモノト認メラレタル時ハ前記ノ米額無異議貴殿へ持參相償可申候

一、前記地所御入用ノ節ハ何時ニテモ返却ノ求ニ應シ可申候

一、借地中自儘ニ他人へ轉作又ハ境界變更土取等ハ勿論其他有害ト認メラルル所爲ハ一切致問敷候

一、前記條項約定候上ハ此條項ニ違背スルカ又ハ違背セシモノト認メラレタル時ハ立稻中ト雖モ直ニ御引上ケ相成候モ聊カ苦情申敷候且宛米渡期限ニ至リ本人他行又ハ事故出來前記約定ノ義務ヲ怠リタル時ハ保證ノ者本人ノ位置ニ成換リ速ニ持參相渡可申ハ勿論其他本人約定ニ違背セシ責任ハ一切負擔可致候

一、此小作證差入候ニ就テハ借地中若シ公布公達ニ抵觸スヘキ條項又ハ貴殿ノ御都合ニヨリ改正致スヘキ條項有之候節ハ御差圖通り直ニ書換可申候

右之約定無相違履行可致爲後日借地小作證依テ如件

明治 年 月 日

大阪府島上郡三箇牧村大字柱本

小作人 何

某 ㊦

同村同字

保證人 何

某 ㊦

同郡同村同字

地主 何 某 殿

四一

借地小作連帶確證

北河内郡九ヶ莊村大字葛原

一、田 八町四段七畝八步 百十一筆



此宛米一百七石四斗九升六合九勺

右地所貴殿御所有之處今般相對之上米作一期間ヲ前期宛米ニテ本日ヨリ我等中へ正ニ借へケ小作致候處確實也依テ約定スル左ニ

一、前記宛米ニ品質ノ善良ナルモノヲ撰ミ以テ宛米ハ斗枴量リ俵裝ハ四斗俵作り外皮等總テ貴殿ノ指揮ニ隨ヒ可申候

一、小作宛米ハ毎年十二月二十日限り豊凶ニ拘ラス前記ノ米額貴殿へ持參相濟可申候尤モ宛米渡濟迄賣米其ノ外使用等一切致間敷候

一、借地中自儘ニ他人へ轉作境界變更ハ勿論事故ナクシテ猥ニ返地其ノ外有害ト認メラル所爲ハ一切致間敷候

一、宛米渡期限ニ至リ連帶ノ内一人ニテモ他行又ハ事故出來前記約定履行難致節ハ残り者ハ申迄モナク相連帶シテ其ノ責ニ任シ直ニ持參相渡可申ハ勿論其ノ他總テ相連帶シテ其責ニ任ス可ク候

右約定之通無相違履行可致候爲後日借地連帶小作證仍テ如件

大正九年三月三日

北河内郡九ヶ莊村大字葛原

小作人 十八人連名

大阪市西區西道頓堀通り三丁目

何 某 殿

四二

（契約更新、小作料滯納ノ處置）

土地賃借證書

一、土地物件及賃借料ノ表示

泉北郡深井村大字深井第七百二十二番地

一、田五畝二十三歩

此賃借料九斗八升

同所第千六百七十六番地

一、田五畝十三歩

此賃借料九斗

同所第千六百七十七番地

一、田四畝七歩



此賃借料七斗

一、土地賃借期限大正七年六月三日ヨリ大正八年六月三日マテ滿一ケ年間  
但シ貴殿ノ明諾ヲ得タル上此契約ヲ繼續シ賃借期限ヲ延長スルコトヲ得

一、賃借料支拂時期大正七年十二月十日

但前項ノ賃借期限延長ノ場合ニハ毎年十二月十日

一、特約

第一項 賃借料トシテ提供スル米ハ品質良好ニシテ乾燥充分ナルモノヲ精撰致スヘキコト

第二項 前項米ハ一俵ニ付玄米五斗入トシ二升ツツノ込米ヲ加ヘ完全ナル二重俵ニ納メ堅固ナル俵装トナス

コト

第三項 水旱等ノ天災ニテ收穫皆無又ハ賃借料ニ不足スルノ恐レアル時ハ毛揚着手前ニ作柄ノ御檢分ヲ受ル

コトアリト雖モ其着手後ニ於テハ如何ナル事故アリトモ決シテ賃借料ノ免減等ヲ請求致サ、ルコト

第四項 耕作中貴殿ノ許諾ヲ受ルニ非スレテ恣ニ地形ヲ變更又ハ樹木栽培其他地質ヲ害スヘキ肥料ヲ施スノ

類總テ土地ノ價格ヲ減損セシムル不誠實ノ行爲ヲ致ササルコト

第五項 萬一賃借料支拂時期ニ至リ延滞シタル時八月一割ノ利米ヲ差出シ申スヘキコト

右貴殿御所有ノ土地ヲ前記各條項ノ如ク賃借致候處實正也然ル上ハ右賃借期限中ト雖モ貴殿ニ於テ土地御入用ノ節ハ何時ニテモ何等ノ異議ナク解約致スヘキハ勿論前記各條項中聊ニテモ違背致

候時ハ此契約ノ土地全部ヲ毛上有姿ノママ御引揚相成候共毫モ苦情等申出間敷候若又右條項ニ違背スル爲或ハ其他ノ事情ニ因リ御損害相立候ニ於テハ本人竝ニ保證人ニ於テ連帶責任ヲ以テ速カニ辨償可致候爲後日契約書依テ如件

大正七年六月三日

泉北郡深井村大字

賃借人 何

某 ㊦

同郡同村同大字

連帶保證人 何

某 ㊦

泉北郡深井村字番地

何 某 殿

四三

一(團體契約ト個人契約ト併セ用ヒラル、モノ)

甲 大阪府西成郡川北村中島新田ニ於ケル申合規則

大阪府西成郡川北村大字中島新田ハ元東京府華族大村純雄氏ノ所有タリシヲ明治十九年八月一



日亡父阿部彦太郎ハ該新田内外還區ノ堤防及及田地宅地其他水道井路敷橋梁村社殿宇ノ細ニ至ルマテ寸壤ヲ餘サス至當ノ代價ヲ以テ之レヲ買入シ全ク我有ニ歸セシメ而シテ古來ノ設備ニ係ル堤防樋管井路等ノ如キモノ不完全ノモノ尠カラス依ツテ改造修繕等ヲ加ヘタル上更ニ該土地ヲシテ小作ニ附セントシ賃借人ヲ募集シタルニ頻々應スル者アリ依ツテ田畑宅地ノ總テヲ年期貸ニ付シタリ爾來其繼續年度ノ久シキニ至リタルト他村居住者ニシテ新タニ賃借ヲ許シタルモノ等アリテ自然該新田ノ沿革湮滅ナランコトヲ慮レ尙且將來ニ於テ紛議ナカランカ爲更ニ左ノ如ク申合規則ヲ制定シタリ又賃借人ハ前記ノ趣旨ヲ體シ尙新田ニ於ケル其地表及ビ地盤トモ他ニ紛レナク全ク地主阿部彦太郎ノ所有ナル事ヲ確認シ更ニ賃借ノ承諾ヲ得ルト同時ニ此ノ申合規則ト賃借證書ニ基キ異議ナク賃借スルコトヲ約定シタリ

依ツテ當阿部彦太郎ハ先代彦太郎ノ遺志ト此申合規則ヲ承繼シ双方異議ナキ事ヲ證セン爲阿部彦太郎ハ左ニ署名シ各賃借人ハ此末尾ニ署名押印スルモノナリ

明治三十七年十二月十五日

中島地主 阿部彦太郎

申合規則

第一條 賃借人ハ各人其ノ賃借スル耕地及宅地ヲ保護シ耕作地ニ付テハ時季ヲ誤ラス肥料ヲ施シ

適當ニ耕作ニ從事シ地味ノ培養ニ勉ムヘキモノトス

第二條 古來ヨリ本新田ノ耕作地ニ就テハ永小作、宅地ニ付テハ地上權等ヲ設定シタル事ナキハ勿論地主ノ外地ニ其ノ上ハ砂株ナトト唱ヘ特種ノ權利ヲ有スルモノナク全ク年期ノ賃貸地ナル事ヲ賃借人ニ於テ之ヲ確認ス

第三條 賃借契約證書ノ如ク其賃借期間ハ一期間ニ限ルト雖モ賃借人ニ於テ本規則及賃借契約證書ノ趣旨ヲ遵守スルトキハ地主ニ於テ尙ホ一期間(田畑ハ一ヶ年宅地ハ三ヶ年)ツツ繼續シテ賃借ヲ許可スルコトアルヘシ

但シ繼續ノ場合ハ時宜ニ依リ賃借料ヲ増減スルコトアルヘシ

第四條 賃借人ハ地主ノ承諾ヲ得シテ其ノ賃借權ヲ讓渡シ若クハ轉貸スヘカラサルモノトス

第五條 土地ヲ賃借セントスル時ハ豫メ其ノ賃借セントスル土地ノ地目反別賃借料額ヲ明記シ且ツ本規則ヲ承認シタル旨ヲ記載シタル借地請求書ヲ地主ニ提出シテ承諾ヲ求メ地主ニ於テ承諾シタル時ハ直チニ賃借契約證書ヲ差入ルモノトス

第六條 賃借人ニ於テ賃借契約ヲ解除セントスル時ハ地主ニ其借地返還ヲ提出スヘキモノトス

第七條 賃借人ノ死亡若クハ退隱其他ノ身ノ上ニ異動ヲ生シタル時ハ其ノ時々地主ニ届出テ賃借契約證書ヲ更改差入モノトス



第八條 賃借人ニ於テ便利ノ爲メ地目ノ變更ヲ要スル時ハ其ノ旨地主ニ申告シ許可ヲ得タル上ニアラサレハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第九條 賃借人ニ於テ地目變更ハ勿論堤防根敷及水路井路埋立若クハ畦畔ヲ切落シ路幅ヲ更ヘ樋管水閘橋板等毀損スルカ如キ行爲ハ堅ク之ヲ禁シ若シ犯スモノアル時ハ其犯者ノ賃借地ノ總テヲ引揚尙別ニ損害ヲ償ハシムルモノトス

但シ總代ハ常ニ之ヲ看守シ取締ヲ嚴ニスヘキ事

第十條 暴風激浪河水漲溢其他非常ノ時變ノ爲メ新田ニ關シ不慮ノ虞アルトキハ賃借人ハ一統其要所ニ馳付ケ遺漏ナク防禦ニ從事スヘキ事

但シ此ノ場合ニ要スル諸材料ハ地主ノ備付ニ係ルモノヲ使用シ粗漏ノ取扱ヒハ勿論殊ニ總代ハ其出入使用ノ員數使用方法ノ監督シテ嚴重ノ取締ヲナスヘシ

第十一條 前條ノ場合ニ於テ賃借人ハ地主ニ對シ出役賃錢ノ請求ヲナササルモノトス

但シ地主ニ於テ自己ノ意見ヲ以テ一時ノ賄費手當ヲ給スルコトアルヘシ

第十二條 旱害及潮水逆流ノ爲河堰ヲ必要トスルトキハ賃借人ハ總代ヲ以テ地主及村役場へ具申

シ所轄官廳ノ許可ヲ得テ設置スルモノトス

但シ此ノ場合ニ於ケル諸材料ハ地主ノ備付ニ係ルモノヲ用ヒ之ニ要スル人夫ハ總テ賃借人ニ於

テ出役負擔スルモノトス

第十三條 土地ノ返還ヲナスヘキ時宅地ニ係ルモノハ其地上ノ建物ヲ耕作地ニ係ルモノハ其ノ作付モノヲ各一ヶ月以内ニ取除クヘシ若シ此ノ期間ヲ經過スル時ハ地主ハ總代ト協議シ臨機ノ處分ヲ爲スモ賃借人ニ於テ毫モ異議ナキ事ヲ爰ニ特約セリ

乙 同所ニ於ケル土地賃借契約證書

土地賃借契約證書

（契約更新、小作料代金納ノ場合ノ換算、小作料俵裝）

攝津國西成郡川北村大字何字何第何番

一 反別 何程

此賃借料一ケ年ニ付攝津上米 何程

右ハ貴殿御所有ノ前記地所今般拙者耕作ノ爲メ正ニ借用候事確實也依之締結スル約款左ノ如シ

一、賃借ノ期間ハ明治 年 月 日ヨリ以後滿一ケ年トシ其ノ期間滿了スルトキハ速ニ明渡シ返地致ス可キ事

但シ期間滿了後更ニ同一ノ期間ヲ以テ繼續シ賃借ヲ許諾セラレタルトキハ本證契約ノ事項ト異ナラサルトキハ別ニ證書ノ更新ヲ爲サス其ノ期間本證ヲ以テ之ヲ代用ス



- 一、賃借料ハ前項ノ通り其ノ年十一月三十日限り遅滞ナク納入可致事  
但シ之ヲ換價全納スルトキハ其ノ年十一月一日ヨリ同月十五日迄ノ市場ノ攝津上米價格平均直段ヲ以テ之ヲ算定ス
  - 一、賃借料ハ年ノ豊凶ニ不拘約定ノ通り納入可致事
  - 一、右地所借用中賃借人ハ猥リニ土地ニ變更ヲ加ヘ或ハ他ノ耕作物ニ障害ヲ來スヘキ行爲ハ勿論此賃借權ノ讓渡若クハ轉貸ハ貴殿ノ承諾ヲ得ルニアラサレハ決シテ爲サ、ルコト
  - 一、天災又ハ其部落有益ノ爲メ土地ニ變更ヲ生スル場合及公共事業官署所有ノ爲メ收用セラレ、ノ必要アリタルトキ又ハ貴殿ニ於テ御入用ノ節ハ期間内ト雖モ御通知次第直ニ之ヲ明渡シ且ツ代リ地ノ請求ハ一切爲サ、ルヘキ事
  - 一、賃借料トシテ納付スル米穀ハ極メテ其ノ品質ヲ精撰シ榊重ヲ正確ニシ二枚俵トナシ堅繩ヲ掛ケ胴繩五段掛ノ俵造リト爲シ検査ノ上之ヲ納入致可事
  - 一、右土地借用中其ノ賃借料ノ納付ヲ怠リ又ハ本契約ノ趣旨ニ背戾シタル事アル時ハ其ノ賃借期間ノ利益ヲ失ヒ直チニ地明ケ返還ハ勿論爲メニ生シタル損害ハ之ヲ償フ可キ事
  - 一、賃借人ハ前記ノ條件ヲ確約シタルニ就テハ若シ賃借人ニ於テ此ノ契約不履行ノ時ハ保證人ハ特ニ連帶シテ本人ト同一ノ責務ニ任ス可キ事ヲ認諾ス
- 右爲後證仍而如件

明治 年 月 日

郡 村大字

賃借人

何

① 某

郡 村大字

連帶(人)保證人何

② 某

郡 村 大字

地主 何 某 殿

兵 庫 縣

四 四

(公正證書、小作料ノ種類、獎勵米、小作料ノ地賣却ノ際ノ處置、小作料滯納ノ處置)

田地賃借契約公正證書原本

本職ハ當事者ノ囑託ニ依リ左ノ法律行爲ニ關スル陳述ノ趣旨ヲ錄取シ此證書ヲ作成ス



第壹條 賃貸人ト賃借人ノ間ニ於テ從來小作關係ヲ有セル左記ノ田地ニ對シ大正十五年一月十日以後ハ更ラニ耕作ヲ目的トスル賃貸借契約名義ニ基キ賃貸人ハ繼續シテ之ヲ使用セシムル爲メ賃貸シ賃借人ハ同一目的ヲ以テ之ヲ賃借シ左ノ條項ヲ認諾シタリ

第二條 賃貸借田地ノ所在反別及ヒ賃料左ノ如シ

津名郡中川原村安田安阪組字家ノ上六百六十一番

一、田、反三畝二十七步

此賃料 一ケ年麥、石七斗、升、合

第三條 賃料ノ納期ヲ定ルコト左ノ如シ

一 賃料米ハ毎年十二月三十一日限トスル事

一 賃料麥ハ毎年七月三十一日限トスル事

第四條 賃貸人ハ大正十五年度作ヨリ優良米ヲ三等ニ分チ賃借人ニ對シ一石ニ付左ノ等級ニ依ル獎勵米ヲ頒與シ各其成績ノ優良ナルヲ表彰ス

一 甲上 八升

一 甲 五升

一 乙 三升五合

第五條 賃借人カ凶作ノ場合ニ於テ賃料ノ減免ヲ受ケントスルトキハ豫カシメ賃貸人ニ對シ其狀況ヲ報告シ

双方ノ立會ヲ以テ實地ニ臨ンテ之ヲ調査シ被害ノ程度ニ鑑ミ減免ノ割合ヲ協定スヘシ

第六條 賃貸人ノ都合ニ依リ本契約ヲ解除シ自作ヲ爲サントスルトキハ賃借人ハ何時ニテモ異議ナク賃借田地ヲ返還スヘシ

但賃貸人ハ一ヶ年前ニ之ヲ豫告スルコトヲ要ス

第七條 賃貸人カ第三者ニ對シ賃貸田地ヲ賣却セントスルトキハ尙引續キ特ニ賃借人ニ賃貸シテ耕作セシムヘク第三者ノ諒解ヲ求メ賃借人ノ利益ヲ確保スヘシ

但第三者ニ於テ自作ヲ爲サントスル場合ハ此限ニアラス

第八條 賃借人ハ賃料ヲ滯納シタルトキハ直ニ強制執行ヲ受クルコトヲ認諾シタリ

本旨外要件

兵庫郡津名郡中川原村安田安阪組六百七十五番地

農業

賃貸人 何 某

年 月 日生

右者氏名ヲ知ラス面識ナキニ依リ法定ノ印鑑證明書ヲ以テ人違ナキコトヲ證明セシメタリ

兵庫縣津名郡中川原村安田安阪組

農業



右者氏名ヲ知ラス面識ナキニ依リ法定ノ印鑑證明書ヲ以テ人違ナキコトヲ證明セシメタリ右列席者ニ讀聞カセタル處一同其趣旨ノ正確ナルコトヲ承認シ左ニ署名捺印ス  
此證書ハ大正十五年一月十日兵庫郡津名郡中川原村安田安阪組字庵地七百四十七番地ニ於テ作成シ左ニ署名捺印スル者也

賃借人 何 某

年 月 日生

兵庫縣津名郡洲本町下屋敷町乙百四番地

神戸地方裁判所所屬

公證人 何 某

大正十五年一月十日囑託人何某ノ請求ニ依リ正本一通ヲ交付スルモノ也

兵庫縣津名郡洲本町下屋敷町乙百四番地

神戸地方裁判所所屬

公證人 何 某

大正十五年一月十日囑託人何某(賃借人)ノ請求ニ依リ正本一通ヲ交付スルモノ也

兵庫縣津名郡洲本町下屋敷町乙百四番地

神戸地方裁判所所屬

公證人 何 某

奈 良 縣

四五

(簡單ナルモノ)

小作預リ證券

字何何番

一、耕地 何程

小作宛 何程

右耕地我小作仕候處實正也然ル上ハ毎年豊凶ニ不拘十二月三十日限り前額宛屹度相納可申候萬一期限持參不致候節ハ引受人ヨリ必ス皆濟可仕候尤右耕地貴殿御入用ノ節ハ何時ニテモ差戻申定約也依之地所預リ證券如件



明治二十九年 月 日

小作人 何 某  
受人 何 某

何 某殿

四六

地所小作證書

何村大字何番地

一田(畑) 何反何畝何歩

此小作料 玄米 何石何斗何升也

右地所貴殿所有ノ處今般私等正ニ預リ小作任候事實正也然ル上ハ毎年十二月三十日限り上米ヲ以テ頭書ノ小作料納付致スヘク決シテ貴殿ニ御迷惑相掛ケ申間敷萬一期限ニ納付致ササル場合及小作料納付致兼ヌル場合ハ保證人ヲ以テ責任納付致スヘク若シ保證人ニ於テ納付致兼ヌル場合ハ強

制執行等如何ナル行爲ニ出テラルルトモ決シテ不服ハ申間敷勿論該地貴殿ニ於テ御入用ノ場合ハ何時ナリトモ返還決シテ異議ハ申間敷爲後日小作證書依如件

年 月 日

住 所

作人 何 某  
保證人 何 某

住 所

地主 何 某殿

四七

(小作料滞納ノ處置、小作地使用ニ關スル制限)

借地證券

何郡何村大字何番地

一、田 何反何畝何歩



此預り米 何石何斗何升何合何勺

右貴殿御所有之地所今般及御依頼借地御許諾被成下候ニ就テハ契約左ニ

- 一、借地料米ハ毎年十二月十日限極上撰米ヲ以テ無遲滞持參相納可申候事
- 一、若シ借地料米納期遲滞セシトキハ其米額一石ニ付一ヶ月ノ利米二升宛ノ積算ヲ以テ勘定可致候事
- 一、借地中ハ立毛他人へ賣却仕ラサルハ勿論借地料米不納ノ節ハ本毛冬毛其他地上ニ有之候有價物ハ(穀五貫目ヲ以テ一石ト定ム其他立毛等有價物) 貴殿御勝手ニ御賣拂被成下候テ不足相立候ハ、何程ニテモ辨出可致候事

一、小作米未納ノ節ハ米直段御勝手ニ直仕切被下候事

一、借地ヲ不精ニシ或ハ借地ノ害トナルヘキ所爲候節ハ其損害要償ニ可應又借地ヲ自己ノ都合ニ依リ其ノ景狀ヲ變換セントスル場合ニハ先ツ貴殿ノ御許諾ヲ得然ル後チニ非ラサレハ着手不仕ハ勿論返地ノ節ハ拙者ノ費用ヲ以テ原形ノ如ク恢復可致候事

一、借地ハ拙者ニ於テ假令如何ナル事故アルモ他へ轉貸致ササル事

一、借地ハ貴殿御入用ノ節ハ何時ニテモ御請求ニ應シ返地仕毫モ異議故障申立間敷候事

一、上記スル事項及ヒ凡ソ地所借用人ノ義務ニ屬スルモノハ連署引受人ハ本人同一ノ義務者トナリ連帶テ契約ノ通り履行仕貴殿へ聊御損失且御迷惑等決シテ相掛不申候事

右之通契約確守可致爲後日借地證券如件

年 月 日

奈良縣 郡 村大字

借地人 何 某

某

奈良縣 郡 村大字

連帶引受人 何

某

何 某殿

四八

(小作料滞納ノ處置、小作地使用ニ關スル制限、契約解除)

耕地小作證

小作地ノ所在地

何縣何郡何町大字何々番地

右貴殿所有ニ係ル耕地今般拙者正ニ預リ小作仕候處確實也仍テ契約ノ條項左ノ通り遵守可仕候

第一條 宛米ハ一ヶ年ニ付生産検査合格米 石 斗 升トシ豊凶ニ不拘毎年十二月三十一日限り前顯



上米ヲ以テ完納ス若シ事故アリテ遅延スルトキハ前以テ右事故ヲ申出テ御承諾ヲ得ルニ非サレハ延滞スヘカラサルコト若シ御承諾無クシテ不納スルトキハ右耕地他方ニ御預ケニ相成候トモ一切苦情申間敷候事  
尙右納期遅延スルトキハ一ヶ月ニ付二分ノ利米ヲ加フヘシ

第二條 前條記載ノ宛米不納スルトキハ時價ニ從ヒ金錢ニ換算シ御請求御隨意ノコト

第三條 第一條記載ノ宛米數量ノ増加ハ貴殿ノ御請求ニ應シ一切異議申間敷候コト

第四條 前記耕地ノ地目變更ノ場合併ニ土質ニ變更ヲ生スル如キ桑、桐、其他樹木及勝手作ハ必ス貴殿ノ御承諾ヲ受クルコト

第五條 貴殿ノ御承諾無クシテハ小作權ヲ他人ニ讓渡シ又ハ其ノ權利ノ存續期間内ニ於テ前記耕地ヲ他人ニ一切貸貸致サ、ルヘシ

第六條 宛米ヲ粃ニスレハ米一石ニ付上粃五拾五貫目立トシ納期及收穫採リ入前貴殿方へ申出御承諾ヲ得スシテ該地ノ收穫取入不仕候間貴殿ノ御差圖ニ任セ違背セサルヘシ

第七條 耕作ヲ不精ニシテ他作ニ劣ル等ノ所爲決シテ之ナカルヘシ若シ等閑ニ附スルトキハ貴殿直ニ適宜ノ修理ヲナシ成熟ノ上隨意ニ御收入可被成事

第八條 前第一條及ヒ第六條ニ違背スルトキハ該地收穫物御差押エ適宜ニ御收入可被成事

第九條 右耕地貴殿御入用ノ節又ハ第一條乃至第六條及ヒ第七條前段ニ違背スル等ノ事アルトキハ何時ニテモ現地御引揚ケ可被成其節一切無苦情差戻スヘシ

第十條 前第九條ノ場合ニ於テ土地明ケ戻シ方遷延シ貴殿御差間ヲ來ストキハ該地ノ作物其他總テ地上ニ有之物品等其儘相渡申候間御取除被成候トモ貴殿御勝手ニ御支配可被下條尤モ該地エ一切立入不申候事

第十一條 拙者ニ於テ御預リ中土地ニ損害ヲ生シタルトキハ如何ナル損害ニテモ何等無苦情賠償可仕候

右契約ノ義務ヲ小作人ハ勿論引受人ニ於テモ確守シ前記ノ土地ニ對シ毫モ御損害相掛不申候若シ本人如何様ノ事故出來候トモ引受人私ヨリ速ニ辨償可仕候右土地小作致居候中ハ幾年ニテモ此證券御用ヒ可被成下候爲其耕地預リ小作證如件

大正 年 月 日

大和國 郡 村

小作人 何 某

大和國 郡 村

引受人 何 某

大和國 郡 村大字

地主 何 某殿



和歌山縣

四九

耕地小作證書

(契約更新)

伊都郡妙寺町大字何字何々番

一田 側

分 斗代此米 何程

右貴殿之耕地拙者借受大正 年度ヨリ耕作候處實正也就テハ前記取極之小作米年々十一月二十日限無相違貴殿藏所へ持届ケ相納可申候萬一本人手許不都合又ハ不在其他ノ事項ニ依リ納期ヲ過キ皆納セサルトキハ本人ニ成代リ證人ニ於テ無遲滯辨償シ少シモ御損難相掛不申且地所速ニ返戻セシメ候又貴殿ノ御都合ニ依リ地所ノ返戻ヲ要スルトキハ何時タリトモ返戻致可ク若シ小作人ニ於テ右地所都合ニ依リ小作出來兼候節ハ其年十月中ニ可申出候尙又引續キ小作候節ハ此證書ヲ以テ有效トス因テ小作證書如件

大正 年 月 日

伊都郡妙寺町大字

小作人 何

某 印

伊都郡妙寺町大字

右證人 何

某 印

伊都郡妙寺町大字

何 某 殿

岡 山 縣

五〇

(小作料納入ノ場所)

小作證書



御津郡何村大字何々番

一、作地反別 何段何畝何歩

此小作料玄米 何石何斗何升何合

右ハ貴殿御所有ノ地所拙者小作仕候處確實也然ル上ハ該地所ハ精々入念耕作仕リ土地ヲ肥沃ニ可仕ハ素ヨリ前記小作米ノ義ハ毎年十二月二十五日限り米質ヲ精選シ貴殿御指揮ノ場所ヘ納米可仕決シテ一日モ遷延仕間敷候萬一期日遷延仕候節ハ證人ノ者屹度義務ヲ負擔シ辨償可仕候而シテ拙者耕作中凶作等有之候節ハ一株タリトモ鎌入不致御届申上候尤モ拙者耕作怠慢ヨリ不作ヲ生シタル節ハ御歎談不申候間其ノ節相當ノ御勘辨可被下素ヨリ鎌入後ハ彼是申間敷候且亦貴殿ノ御都合ニ依リ何時タリトモ小作御引揚相成候節ハ速ニ御返地可申其節聊カ異議申間敷候依ツテ爲後日小作證書差入候處如件

年 月 日

住 所

小作人 何

某 ㊦

住 所

證人 何

某 ㊦

地主 何 某 殿

德 島 縣

五一

(小作料ノ種類、訴訟管轄裁判所)

小 作 證 書

三好郡晝間村大字晝間何々何番地

一田 一反歩

小作料

玄米 一石五斗  
稗麥 五斗

石之通貴殿所有地小作仕候處實證也然上ハ書面ノ小作料期限之通每期無相違納入可仕候萬一期限ニ怠リ納入滞リ候節ハ地所立毛之儘御引上ハ勿論米麥代金御支拂可仕候且ツ又約定異變ニ不拘地所御入用ノ節ハ何時ニテモ早速差戻可申候依テ爲後日小作證如件

裁判所管轄ノ義ハ小作人何處ニ在任仕候トモ脇町區裁判ヲ以テ第一審裁判所ト致事ニ合意仕候



大正 年 月 日

地主 何 某 殿

小作人 何

某 ㊦

五二

(小作料ノ種類、不作時ノ小作料減額、小作地使用ニ關スル制限)

地所小作約定證書

德島縣名西郡浦庄村大字上浦字南第一二三番

一田 一反步

此ノ小作加地子

麥 八斗 每年六月二十日限  
米 一石二斗 每年十一月二十日限 皆納

右貴殿所有ノ地所今般拙者小作仕候處確實也然上ハ本文小作米麥共期限通無相違納入可申候依テ左記條件契約ス

- 一、小作米麥納期ニ其年新穀精選米麥ヲ以テ相納メ可申候若シ粗惡ナル時ハ精選麥ニ代ル可キ計量ヲ追納ス
- 二、加地子米麥期限ニ至リ納濟ニ至ラサル節ハ本地作付ノ立毛熟不熟ニ不拘地主ニ於テ隨意處置セラレヘシ

此場合ニ於テ種穀代肥料代ノ損害賠償ハ申出問敷候

- 三、風水旱其他天災ニ於テ本約定ノ加地子米麥ニ不足ヲ生スル見込アル場合ハ地主ニ臨檢ヲ請ヒ其ノ立毛八分通ヲ地主ヘ相納メ殘二分ハ小作人ノ所得トス若シ地主ノ臨檢不請收得候節ハ如何様ノ場合タリトモ減額等申出マシク候
- 四、本地地主ノ都合ヲ以テ返戻ヲ請求ノ節ハ速カニ之ニ應スルハ勿論季節ニ不拘速カニ返還ス

- 五、小作中普通耕耘ノ小作物ノ根株及土砂等ヲ變換又ハ本地外ヘ運搬致サス候
- 六、本地ニ生スル藍其ノ他ノ立毛ハ地主ノ承諾ヲ得ルニアラサレハ先賣又ハ賣渡ノ約束ハ決シテ致サス候
- 七、加地子米麥ハ其ノ納期毎ニ小作人ヨリ相納可申ハ勿論ナルモ萬一延滞スルカ又ハ納期ニ至リ小作人不在ノ節ハ證人ハ本人ニ代リ納濟ノ義務ヲ有ス

右契約候ニ付テハ後日異論無之爲證人連署候也

明治四十三年十一月一日

名西郡浦庄村大字上浦三番屋敷

小作人 何

某 ㊦

同郡同村大字同十番屋敷

證人 何

某 ㊦

地主 何 某 殿



五三 (小作料ノ種類、小作料滞納ノ處置、訴訟管轄裁判所)  
地所小作證書

德島縣阿波郡林村字中坪百五十七番

一田 一反歩

此小作料 夏期 麥 八斗 八月十五日納  
秋期 米 一石五斗 一月十五日納

右ハ貴殿所有ノ地所前書之地子ニテ小作候處確實也然上ハ小作契約左記之通

- 一、前記ノ小作料期日限リ相違無ク皆納可致候事
- 二、前記小作料納付ノ義務ヲ相忌リタルトキハ御案内ナク毛付ノ儘御引揚ノ上歛入又ハ刈入ノ立毛小作料ニ充テラレ勝手ニ費消セラレ候共種代肥代其他手数料等要求セサルハ勿論一切苦情申立間敷候事
- 三、前記ノ地所凶作ニ候共決シテ小作料減額申立間敷候事
- 四、該地所御入用ノ節ハ期節ヲ不論何時ニテモ差戻申候事
- 五、第二項ノ同所引揚ニ付テハ無案内ノ事故訴訟手續又ハ催告ヲ要セス地主ノ專斷ニ相任セ候事
- 六、訴訟等提起スル時ハ川島區裁判所ヲ以テ管轄裁判所ト相定メ茲ニ合意致候事

右之通り約定候也

大正 年 月 日

阿波郡椿村

小作人 何

某 印

同

證人 何

某 印

地主 何 某殿

香 川 縣

五四

(小作料納入ノ場所、小作料代金納ノ場合ノ) 取扱、小作地使用ニ關スル制限、契約解除)

土地賃借證書

小作地所在、地目反別ノ表示



右貴家御所有耕地左ノ約條ニ依リ今大正 年度ヨリ賃借致候

一、壹ケ年度ノ賃借料ハ玄米 ト相定メ候

但シ此年度ハ稻作植付ノ季節ヨリ麥作刈取ノ季節迄トス

二、前條玄米ハ品質俵裝等本縣産米検査規則ニ遵ヒ合格シタルモノニ限ルヘク候

十一月三十日ヲ以テ納期ト定メ該期日迄ニ貴家又ハ貴家ノ指定セラレタル場所ヘ送付辨濟可致候

金納ノ場合ニハ毎年地主會ノ議決セル米價ニテ御計算可致候

三、災害及其他一般凶作ノ場合ニ於テモ借地料減額申出間敷事特ニ相定メ候

四、甘土ノ除去、地盤若クハ用法ノ變更、耕地ノ曠廢、地味ヲ害スル施肥其他ノ行爲、賃借權ノ讓渡轉貸ハ

決シテ致間敷土地及農事改良ニ關スル貴家ノ御指揮ハ遵奉可致候又地方ノ慣習ニ依ル小作人ノ負擔ハ所

並ニ相勤メ可申候

五、前各條ニ違背ノ廉聊カニテモ有之候節ハ作物ノ季節ニ拘ハラス何時御解約相成候共不苦候此場合ニ於テ

ハ其時現在ノ地上立毛ハ直チニ取拂ヒ土地御引渡可申候尙損害ヲ生セシメ候節ハ直チニ辨償可仕候

六、前條ニ拘ハラス貴家ノ御都合ヲ以テ御解約相成候節ハ作物刈取季節ニ於テハ何等御豫告無之トモ速ニ御

返地可致候尤モ自分ヨリ解約申出候節ハ季節ヨリ壹ケ年前ニ豫告可致候

七、保證人ハ小作人ト連帶シテ本證ノ義務相盡可申候

右之通無相違遵守可致仍テ證書如件

大正 年 月 日

大川郡 何 町

賃借人 何

某 ㊦

何 郡 何 町

保證人 何

某 ㊦

何 某 殿

五五

(小作權ノ賠償、小作地ニ係ル負擔、契約解除、訴訟管轄裁判所)

小作契約證書

一、土地及小作米竝ニ小作人別ハ別表記載ノ通リ

二、小作米ハ毎年舊十二月末日限り合格玄米ヲ以テ地主ヘ納付スルモノトス

三、小作灌溉用水ノタメ地主ニ於テ發動機ノ据付ケヲナス事但シ發動機運轉ニ關スル油其他一切

ノ費用等ハ小作人ニ於テ負擔實行スルモノトシ地主ハ之カ引當トシテ小作米内ニテ反當リ一



斗ヲ小作人ニ支給スルモノトス

四、地主ノ都合ニ依リ六ケ月前ノ豫告ヲ以テ土地ノ返還ヲ求ムル時ハ小作人ハ異議ナク土地ノ明

二、渡ヲナスモノトス但シ六ケ月滿了ノ際未タ收穫期ニ達セサル作物アル時ハ其ノ收穫ヲ經ル迄

一、明渡ヲ猶豫スルモノトス

五、第四項ニヨリテ小作人カ土地ノ明渡ヲナシタル時ハ地主ハ小作人ニ對シ一反歩ニ付參百圓宛

ヲ辨償スルモノトス但シ前項滿期又ハ收穫後一ケ月内ニ明渡ヲ實行セサル時ハ此ノ辨償金ヲ

受クル權利消滅スルモノトス

六、本契約ニ付キテハ高松區裁判所ヲ管轄トス

右契約ノ證トシテ本證ニ通ヲ作り各自壹通ヲ所持スルモノ也

大正十五年十二月三日

地主 何 某  
小作人 何 某 外七名

一、三畝十二歩

三斗一升一合

何 某

殿

一、二反九畝歩

二石一斗八升

何 某

殿

一、六反二畝十歩

六石一斗七升五合

何 某

殿

一、一反四畝二十九歩

一石四斗二升五合

何 某

殿

一、二反六畝十七歩

二石二升八合

何 某

殿

一、三反二十六歩

二石八斗九升

何 某

殿

一、四反二畝歩

三石五斗二升

何 某

殿

一、八畝歩

七斗二升

何 某

殿

以上ノ卸米ヨリ發動機經費トシテ反當リ一升引キ

愛媛縣

五六

（契約解除、小作料滞納ノ處置、小作料ノ納入ノ場所、小作地使用ニ關スル制限）

一ケ年限リ借地證書

宇摩郡 何村大字何何番地



一田(畑) 何段何畝歩

此借地料 玄米何石何斗

右貴殿御所有地一ヶ年限り借地仕候處確實也就テハ左ノ通契約仕候

- 第一項 借地期限ハ本年夏冬兩作期間トス
- 第二項 貴殿ニ於テ借地御入用ノ節ハ前項期間ニ不拘耕地ハ植付ノ物件ト共ニ即時ニ返地可仕候此場合ニ於テ作物ニ對シ種子、肥料代其ノ他耕作ニ要シタル費用トシテ貴殿ノ御見込ヲ以テ何程ニテモ御給與被下候義ハ格別拙者ヨリ何等ノ賠償ヲモ請求致間敷但シ本項ノ場合ニ於テ耕地ハ既ニ收穫シタル作物迄ノ借地料ヲ相納メ可申候

- 第三項 第一項借地期間ニ於テ拙者都合ニ依リ中途返地致候場合ニハ借地料ハ金額相納可申候
- 第四項 何レノ場合ニ於テモ返地スヘキ時期ノ經過シタルトキハ返地ハ當然行ハレタルモノト看做サレ其ノ當時地上ニ殘存スルノ凡テノ物件拙者ニ於テ抛棄シタルモノトシ貴殿御隨意ニ御處分被下聊カ苦情無之候
- 第五項 借地料米ハ最良ノ米質ヲ精選シ乾燥、調製、俵裝等入念ニ仕立翌年二月二十五日限り御指圖ノ場所ヘ持參納米可仕候萬一遲滞仕候節ハ一ヶ月一步五厘ノ利米相加ヘ元利米共何時ニテモ保證人ヨリ辨納可仕候但シ一俵ニ滿タサル端米ト雖二斗以上ニハ俵相添ヘ可申候

- 第六項 金納仕度節ハ御指定ノ代價ニ依リ可申候
- 第七項 借地ハ自儘ニ他人ヘ轉貸若クハ土石掘取リ地姿模樣替ヘ等仕ラサルハ勿論常ニ境界ニ注意シ畦畔境

標等保護可仕候

- 第八項 借地ハ耕作方叮嚀ニ地味瘠セサル様常ニ愛護ヲ加ヘ石灰肥料ハ濫リニ施用致間敷候
- 第九項 田地ハ稻作、田芋、畑地ニ大豆、小豆、粟、黍、甘藷、陸稻ヲ作付シ天災ノ爲收穫高納米ニ不足ト見込候節ハ刈掘以前ニ免引願出實地御檢分ノ上採否及免引高ノ多少ハ貴殿ノ御見込ニ任セ決シテ苦情申間敷候

- 第十項 第九項以外ノ作物ヲ仕付ケ候カ又ハ借地料米肩書ニ「ジゴク」ト記載有之分ハ如何ナル凶作ト雖御引米願出テス借地料全額相納可申候

- 第十一項 左記ノ場合ニハ前以テ申出何分ノ御指圖ヲ得テ後着手可仕候
  - 一、地目變換竝ニ開墾ヲ爲サントスルトキ
  - 二、果樹、桑、桐、楮等ヲ植付ケ竝ニ甘蔗作ヲ致度キトキ
  - 三、天候水利ノ關係等ヨリ不得止免引制限外ノ作付ヲ爲シ尙免引ヲ受ケントスルトキ
- 第十二項 本契約ニ違背致候場合ニハ第一項ノ期限ニ不拘何時ニテモ借地御引上ケ相成候トモ一言ノ苦情無之且ツ是ヨリ生スル損害ハ貴殿ノ御見込ニ任セ賠償可仕候
- 第十三項 第十二項ノ場合ニ於テ其期間ニ相當スル借地料ヲ納メ返地可仕耕地ハ植付ケ作物ト共ニ即時返地仕リ種子肥シ其ノ他耕作ニ要シタル費用等一切請求致間敷候

右ノ通り契約仕り萬一本人事故有之候節ハ連帶責任タル保證人ニ於テ其義務ヲ引受ケ貴殿ヘ聊カ



御迷惑相掛ケ申間敷候仍而借地證書如件

大正 年 月 日

住 所

借地人 何

某 印

住 所

連帶保證人 何

某 印

住 所

同 何

某 印

地主 何 某 殿

高 知 縣

五七

(契約繼續、小作地使用ニ關スル制限、契約解除、訴訟管轄裁判所)

土地 賃借 證書

何郡何村何字何番地

一田 何反何畝何歩

此一季賃借料米 何石何斗何升何合也

但シ年ノ豊凶ニ拘ラス四斗ニ付一升三合ノ割合ヲ以テ揚リ米差加ヘ米質繩俵共ニ精撰ノ上十二月二十五日限り着拂ノ筈期日經過後ハ一ヶ月一步ノ利米附加可致約定

前記貴殿所有地今般右料米ヲ以テ賃借仕リ候處實正也就テハ左ノ條件確守仕候

- 一、前記賃借地ハ拙者ニ於テ全ク無由緒ナルニ付貴殿ノ權利ヲ侵害候様ノ行爲ハ必ス致申間敷ハ勿論御入用ノ節ハ何時ニテモ御指定ノ期日返地可致候
- 二、賃借期間ハ一期ノ約定ニ付主タル作物ヲ終ヘタル後ハ滿了スルモノトス  
滿了跡地ハ別ニ引渡ノ手續ヲ俟タス貴殿ニ於テ御自由ニ可被致候
- 三、賃借地ハ必ス自作シ何等ノ事情有之候トモ其地轉貸ハ勿論共同耕作等モ總テ致申間敷候
- 四、賃借地ノ境界ハ嚴重可相讓候且在來ノ地界標識物保存方屹度注意可仕候
- 五、實地々形ノ變更其ノ他苟モ賃借地ノ價值ニ減減ヲ來ス様ノ行爲ハ必ス致ス間敷タトヘ其ノ目的カ便利改良ニ出ツルト雖モ御承諾ヲ俟タスシテ專斷ノ所置申間敷候
- 六、本契約及民法賃借ニ關スル規定ニ違背シタル時ハ民法上終了ノ期間ヲ俟タス何時ニテモ解約返地ト御認定相受ケ決シテ異議無之候前項ノ場合又ハ拙者ニ於テ中途返地申候時ハ料米ノ日割月割ノ計算ヲ爲サス



即時全額ヲ相支拂可申候前項ノ場合耕耘中途ナル時ハ作付其儘ヲ以テ返地シ種苗肥料夫役賃金等ノ請求  
 六、モ致間敷候  
 七、賃借料ハ御都合ヲ以テ時價ニ換算シテ御請求相受ケ候共異議無之候  
 八、保證人ハ賃借料米ノ支拂ヲ始メ此ノ契約ニ關スル借地人ノ義務一切ヲ連帶ノ責任ヲ以テ保證仕候  
 九、賃借人ニ於テ引續キ借地ヲ使用シタルトキハ本人保證人共ニ本證書面ヲ繼續履行可致ハ勿論前記第二項  
 ノ場合ヲ除ク他苟クモ本證書カ貴殿御手許ニ存在スル限り等シク本證書面ノ義務履行可仕候  
 十、萬一本契約上ニ關シ御訴訟ノ場合ハ何々區裁判所ヲ合意ノ上管轄裁判所ニ指定致置候  
 土地賃借證書仍而如件

年 月 日

郡 町 字 番地  
 借地人 何 某 印  
 郡 町 字 番地  
 借地人 何 某 印  
 郡 町 字 番地  
 保證人 何 某 印

佐 賀 縣

五八

(極メテ簡單ナルモノ)

小作田仕譯書

佐賀郡何村大字何字何番地

一、田 何反何畝何步也

反ニ付 何斗何升ノ割

小作米 何俵何斗何升何合也

右之通り

大正 年 月 日

小作人

何 某 印



五九

(小作地ニ係ル負擔、訴訟管轄裁判所)

小作證書

一、(小作料ノ表示)

前書小作米ノ契約ヲ以テ左記ノ土地借受下作仕候ニ付テハ毎年十一月十五日限り持來可致仍而左ノ條項ヲ特約仕候

- 一、前記小作米ハ天災其他故障ノ爲メ作物ノ豊凶ニ不拘差上可申候
- 一、左記地所ニ係ル諸税金ハ地主ニ於テ負擔シ其他公役且ツ公用費ハ小作人ヨリ相辨シ可申候
- 一、小作人及保證人ノ内財産差押ヲ受クルカ又ハ破産御見込ノ節ハ期限前ト雖モ御請求相成候共一言之異議無之候
- 一、左記地所御入用ノ場合ハ不及申小作米延滞仕候際ハ何時ニテモ小作停止相成共苦情不申候
- 一、保證人ハ小作人ト連帶責任ヲ以テ義務ヲ盡シ可申候
- 一、本件ニ付訴訟ヲ要スル時ハ伊萬里區裁判所又ハ貴殿御便宜ノ裁判所へ御出訴相成モ異議不申候

年 月 日

西松浦郡 何村

小作人 何

某 印

同 郡何村

保證人 何

某 印

同郡何村

何 某殿

(左記省略)

鹿兒島縣

六〇

(簡單ナルモノ)

小作證書



何郡何村字何番地

一、田(畑) 何反何畝步

此小作料一ヶ年ニ付玄米何斗何升

右貴殿御所有ノ土地拙者借用小作仕候儀實正也小作料ノ儀ハ毎年十二月何日限無相違納入仕可候  
萬一其期ニ至リ本人納入致シ兼テ候節ハ保證人ニ於テ一切引受上納仕リ聊モ貴殿ニ對シ御損失相  
掛申間敷爲後日保證人連署ヲ以テ小作證書一札差入レ置候也

年 月 日

住所番地

小作人 何

某 ㊦

住所番地

保證人 何

某 ㊦

地主 何 某殿

# 二 定期小作證書



一一 定期小作證書

北海道

六一

(小作地使用ニ關スル制限、小作料改定、備荒貯蓄、小作地ニ係ル負擔)

小作書

十勝國中川郡何村

線東 番地

線東 番地

線東 番地

線東 番地

一 合畑反別 何程

内反別 何程

小作人居小屋敷地











第四條 土地賃借料納入期日前ト雖モ地主ノ請求アルトキハ收穫物ヲ擔保トシテ提供ス  
第五條 土地賃借料ニ對シ地主ヨリ代物辦償ヲ請求セラレタルトキハ異議ナク應スルコト  
此ノ場合ニ於テハ時價ニ據テ算定ス

第六條 左ノ場合ニ要スル費用又ハ勞力夫役ハ拙者ノ負擔トス

- 一、賃借ノ畑ヲ田ニ墾成スル爲メノ勞力及費用
- 二、地租以外ノ公課及協議費

三、用水路及排水溝ノ浚疏並ニ作道ノ修繕手入等ニ要スル勞力夫役

四、天災等ニ處スル豫防作業及應急手當ニ要スル勞力夫役

第七條 左ノ場合ニ於テハ豫メ地主ノ許諾ヲ得ヘキモノトス

- 一、畑ヲ田ニ墾成セントスル場合
- 二、賃借地内ニ建物穿井其他ノ施設ヲ爲サントスル場合
- 三、賃借地内ニ果樹及其他ノ樹木ヲ栽培セント欲スル場合

第八條 地主ノ承諾ヲ得シテ賃借地ヲ他ニ轉貸シ又ハ賃借權ヲ賣買スルトキハ本契約ヲ無効トシ解除ノ通知ヲ要セサルモノトス

第九條 左ノ場合ハ賃借地ノ返還又ハ契約ノ更改ヲ要セラル、モ異議ナキモノトス

- 一、賃借地反別又ハ賃借料ノ誤差ヲ發見シタルトキ

二、賃借セル畑ヲ田ニ墾成シタルトキ

三、道路ノ新設又ハ用水路及排水溝開鑿ノ必要アル場合

四、賃借地區劃ノ變更又ハ土地改良若シクハ試驗地ノ新設其他地主ニ於テ土地使用ノ必要生シタルトキ

五、地主ヨリ賃借料ノ改正ヲ命セラレタルトキ

第十條 左ノ各項ノ一ニ該當シタルトキハ本契約ヲ解除セラル、モ異議ナキコト

一、本契約ノ各條項及農場土地賃借規程其他ノ諸則ニ違反シタルトキ又ハ地主ノ指命通告ニ應セサルトキ

二、賃借地ノ施肥手入ヲ怠リ又ハ耕地ニ適セサル作付ヲ爲シ其他地力ノ衰耗ヲ來スヘキ行爲アリタルトキ

三、隣保ノ交誼ニ障害ヲ及ホシ農場ノ平和ヲ攪亂スヘキ行爲アリタルトキ

第十一條 本契約ヲ解除セラレタルトキハ其ノ通告ヲ受ケタル日ヨリ十日以内ニ自己所有ノ工作物ヲ除去シ

土地ヲ原形ニ復シテ返還退場スルモノトス

第十二條 本契約ニ起因スル訴訟ハ小樽區裁判所ヲ以テ合意ノ管轄裁判所トス

右土地賃借契約候也

大正 年 月 日

國 郡

番地

賃借人 何

某 印

國 郡

番地



余市郡余市町

何 某 殿

六三

(契約更新)

小作誓約證書

空知郡沼貝村字茶志内何農場

一、田 何程

但此小作米初年一反歩玄米二斗五升(開墾又ハ變)二年目五斗以後一箇年ヲ増ス毎ニ一斗ヲ加フ  
八斗ニ至リテ止ム

一、畑 何程

但此小作料金一反歩 何程

以上田畑小作料ノ改正ハ貴殿ノ御指揮ニ從フヘシ

右貴殿御所有地今般拙者小作致候ニ付誓約スルコト如左

- 一、小作繼續期間ハ大正 年四月一日ヨリ向フ三ヶ年間ト定ム但期間内ト雖モ貴殿ノ御都合ニ依リ田畑ノ返還ヲ要セラルトキハ其當時ノ作付物ハ相當代金ヲ以テ御引取り可相成候事
- 一、前項ノ小作期間滿了後ト雖モ善良ナル注意ノ下ニ耕作ヲ怠ラサル限り更ニ其ノ期間ノ延長ヲ承諾可被成候事

一、田小作米ハ毎年十二月十五日限り相納メ可申候事

一、畑小作料金 九月十五日(四分)ノ兩度ニテ相納メ可申候事

一、天災事變ノ爲メ收穫カ小作料納入スルヲ得サル減收ノ時ハ實地御檢分ノ上其程度ニ應シ小作料ヲ減免可被成候事

一、小作地ニ對シテハ四圍ノ境界ヲ守リ年々灌排水溝ヲ浚渫シ又ハ畦畔等ノ修繕ハ屹度可致候事

一、小作地ハ許可ナクシテ田畑ヲ變更シ又ハ土ヲ取り穴ヲ穿ツカ如キコトハ勿論他人ニ轉貸等致シ間敷候事

一、常ニ農事ニ精勵シ種子ノ改良撰擇ヲ謀リ充分施肥ヲナシ除草ヲ専ラニシ地層ノ衰瘠セサル様

國 郡 保證人 何 某 ①

郡 保證人 何 某 ②

番地

某 ③



注意可致候事

以上誓書候上ハ前記ノ箇條堅ク相守リ可申ハ勿論若シ萬一小作料ノ納期ヲ怠リタル場合ハ住宅内  
外ニ存在スル農作物始メ其他動産不動産ヲ問ハス御隨意ニ御處分ノ上債務ノ辨濟ニ充テ尙ホ不足  
ヲ生シタル時ハ連帶保證人引受ケ貴殿ヘ毫モ御損害相懸ケ申間敷候爲後日小作誓約證書如件

大正 年 月 日

郡 村字 番地

小作人 何 某 ①

郡 村字 番地

連帶保證人 何 某 ②

空知郡沼貝村字茶志内

何 某 殿

六四

(不作時ノ小作料減額、小作地使用ニ關  
スル制限、契約解除、訴訟管理裁判所)

小作 契約 證書

第一條 地主何某ハ第二條ニ記載シタル土地ヲ小作人何某ニ小作セシメ何某ハ之ヲ小作スル事ヲ  
約諾シ保證人何某ハ小作人カ地主ニ對スル義務ニ付キ連帶保證ヲナシタリ

第二條 小作契約地ハ左ノ如シ

何國何郡何村何番地

一畑 何程

一畑 何程

第三條 小作料金及納入期日ハ左ノ通り協定ス

一 小作料金 何程

一 小作納入期日 何程

第四條 小作契約期間ハ本契約成立ノ日ヨリ大正 年 月 日迄トス

第五條 契約土地ニ係ル公課諸税ハ地主ノ負擔トシ其ノ以外ハ總テ小作人ノ負擔トス

第六條 小作人カ不可抗力ノ爲メ小作料ヨリ少ナキ收穫ヲナシタルトキハ地主ハ其ノ程度ニ應シ  
テ小作料ヲ減額スル義務アルモノトス

第七條 但シ此ノ場合ニハ小作人ヨリ耕作物收穫以前ニ地主ノ實地見分ヲ求ムルモノトス

第七條 作物ノ撰擇ハ小作人ノ隨意トスルモ蕎麥ニ限り地主ノ承諾ヲ得タル上ニアラサレハ耕作



スル事ヲ得ス

第八條 小作人ハ此ノ契約ニ因テ得タル權利ヲ第三者ニ賣買讓與スル事ヲ得ス

第九條 地主ハ公益及小作人カ本契約ニ違背シタル場合以外故意ニ本契約ヲ解除スル事ヲ得ス

第十條 小作人ニ於テ小作地ニ勞力費用ヲ投シ又ハ居小屋排水道路等一切ノ加工物ニ對シ地主ニ辨償ノ義務ナキハ勿論契約解除ノ際ハ無償ニテ地主ニ引渡スヘキモノトス

第十一條 小作人ハ小作地ニ相當ノ肥料ヲ供給シ善意ヲ以テ耕作スル義務アルモノトス萬一其レ等ノ義務ヲ怠リ耕地ヲ荒廢ニ屬セシムルカ如キ所爲アルトキハ地主ハ直ニ本契約ヲ解除スル權利ヲ有ス

第十二條 地主カ小作地ニ對シ善意ノ加工ヲ爲ス場合ハ小作人ハ何等ノ異議ヲ唱フル權利ナキモノトス

但シ此ノ場合ニ於テハ其ノ加工ノ爲メ小作人カ更ニ收穫ナキ時ニ限り地主ハ其ノ小作料免除スヘシ

第十三條 小作人ハ耕作物ヲ青田ノ儘抵當書入又ハ賣却スル事ヲ得ス

第十四條 契約期日以前ニ本契約解除ノ場合ハ何等ノ理由アルモ小作人ハ耕作物ヲ其儘地主ニ引渡シ且ツ第三條第一項ニ定メタル料金を即時全納スル義務アルモノトス

第十五條 小作人ハ總テ地主及代理人カ善意ノ指揮ニ應スルハ勿論風俗ヲ壞亂シ公益ヲ害シ村内組合等ノ規約申合セテ遵守セス又ハ他人ニ迷惑ヲ及ホス等ノ舉動アリタルトキハ地主ハ直ニ本契約ヲ解除スル權利ヲ有ス

第十六條 小作人カ收穫物ヲ他ニ賣却シ第三條ノ義務ヲ怠ル舉動アリト地主ニ於テ認メタルトキハ地主ハ立會人一名ヲ立會ハシメ運搬ヲ差止メ義務完済迄收穫物ヲ預カリ置權利ヲ有ス

第十七條 本契約ノ訴訟行爲ヲ 何 區裁判所ト合意ス  
右之通り確約シ本書ニ通テ作成シ署名捺印ノ上各自一通宛所持スルモノナリ

大正 年 月 日

北見國常呂郡置戸村 番地

地主 何々 農場 ㊦

國 郡 村 番地

小作人 何 某 ㊦

國 郡 村 番地

保證人 何 某 ㊦

國 郡 村 番地

岩手縣



岩手縣

六五

(不作時ノ小作料減額)

小作證書

一、一町一反五畝歩

此ノ小作米一ヶ年二十四俵也

但シ精選上米一俵ハ四斗入トス

右貴殿所有地大正二年一月ヨリ同四年十二月迄三ヶ年間前顯ノ小作米ヲ以テ左ノ定約ニヨリ小作可致義確實也

一、小作年限中ハ前書ノ小作米ハ毎年十二月二十日限り貴殿宅迄駄送ノ上悉皆上納可仕候

保證人何

某 印

同郡同村

- 一、小作料ハ總テ精選ニ拵一俵造ハ四斗入五ヶ所結四合ノ中打仕立ニ相定可申候 但シ四斗拾六貫ノ割
- 一、小作人ニ於テ小作料ヲ未納スルカ又ハ事故ニヨリ怠納ニ相涉候節ハ保證人ニ於テ本人ニ代リ約束ノ納期後拾日以内ニ辨納可仕ハ勿論小作米怠納ノタメ請求ノ訴訟ニ被及タル節ハ凡テ費用ヲ併セテ保證人ニテ負擔可致候
- 一、天災地變凡テ氣候不順ノタメ秋實不熟作ノ時ハ鎌入前ニ御立見相受相當ノ引方申受ケルカ又ハ地主七分小作人三分ノ割合ケテ以テ分配可致カ總テ貴殿ノ望ニ可應申候但シ不手入及肥料不足ノタメ秋熟隣地ト異ルトキハ假令收穫皆無ト雖モ決シテ減石等相願申間敷候
- 一、小作定約年限中ト雖モ小作人ノ義務不履行又ハ貴殿ノ御都合ニ依リ他ニ賣買讓與等ノ節ハ小作地御引上相成候テモ異議申間敷候

右條々本人ハ勿論保證人共確守仕毫モ違背不仕候依テ保證人連署ヲ以テ小作定約證如件

大正 年 月 日

西磐井郡老松村

小作人 何

某 印

同 上

保證人 何

某 印



何 某殿

六六

小作證書

何郡何村大字何字何番ノ何

一、(田畑)反別 何程

此ノ小作(米、麥、豆)何石何斗

右地所大正何年ヨリ同何年迄何箇年間貴殿ヨリ小作相願候ニ付小作手續左ニ定約致置候

一、小作米ハ年々十二月二十日限リヲ以テ貴殿御指定ノ倉場ヘ定約ノ小作料ヲ吃度皆納可致候

一、氣候不順ノタメ作物不作ノ場合ハ刈取前御検査相受ケ割引或ハ相當ノ分等相願可申候但不手入ノタメ作柄不況ヲ來シタルトキハ割引其ノ他致ササルモ不苦候

一、本定約ニ違背ノ廉有之時前記年限ヲ無効トシ小作地御取上ノ命御申越ノ場合ハ苦情差拒等致間敷候

右條々無相違守可申萬一小作人ニ於テ契約ニ違背候節ハ保證人ニ於テ吃度辨濟ノ義務ニ可任爲後

日小作人保證人連署ノ上小作證書依テ如件

年 月 日

住所

小作人 何

某 印

住所

保證人 何

某 印

地主 何 某殿

宮 城 縣

六七

(簡單ナルモノ)

小作證書

田 何反何畝何步

此小作料一箇年 何石何斗何升也



右貴殿御所有ノ土地借用仕リ候期間ハ 年 月ヨリ 年 月迄滿五ケ年小作仕候事確實也然ル上ハ現狀ノ儘小作仕リ該土地ニ損害等一切致間敷候小作料ノ儀ハ毎年十二月十五日ニ無相違上納仕リ候尙米質四等米以上ヲ以テ差上可候右後日ノ爲メ小作證書差入置候也

年 月 日

村町 番地

小作人 何 某 ㊦

地主 何 某 殿

六八 (小作料ノ種類)

小作證書

何那何町大字何

字 何

一合段別 何程

此小作 米 (何程) 毎年十二月二十五日限

大豆 (〃) 同 十月二十五日限

麥 (〃) 同 七月二十五日限

金 (〃) 同 七月二十五日限

右貴殿所有地前記ノ小作料ヲ以テ小作仕候儀確實也就テハ右年限中左ノ件々定約致候事

一、小作年限ハ 年ヨリ 年マテ ケ年トス

二、小作料ハ前記ノ期日ヲ愆ラス上納可致候若シ萬一期日ニ至リ上納ヲ滯フルトキハ保證人ニ於テ辨償可致候

三、耕作不手入ナルトキハ勿論貴殿ノ御都合ニ依リテハ期限内ニ於テ小作御引揚相成候トモ異議申上間敷候

右定約ハ小作人保證人連帶ニテ其義務ヲ履行可致候仍テ爲後日保證人連署小作證如件

年 月 日

郡 村町 番地

小作人 何 某 ㊦

郡 村町 番地

保證人 何 某 ㊦



地主何 某殿

秋田縣

六九

(不作時ノ小作料減免、小作料ノ擔保、小作料代金納又ハ代物辦濟ノ場合ノ取扱、契約解除)

小作契約書

一、合計土地面積 何程

別紙明細書ノ通り

此小作料

何程 ( )

右貴殿所有ノ

地拙者小作致候ニ付左ノ各項ヲ約諾ス

- 一、右小作料ハ毎年十一月二十日迄貴殿ノ住所又ハ指定ノ場所ニ於テ辦濟可致候事
- 二、小作契約期間ヲ 年 ( ) 月 ( ) 日迄ト定ム

三、小作方法種子並ニ肥料ノ種類選定及ヒ使用方法ニ關シテハ專ラ貴殿ノ指揮ニ從ヒ施行シ且ツ善良ナル管財人ノ注意ヲ以テ管理シ世ノ進歩發達ニ伴ヒ聊カ改善ヲ怠ラサル事ヲ約ス

四、凶作ノ年ハ九月二十日以前ニ貴殿ノ立會調査ヲ請ヒ協議決定ノ上錄入可致候事若シ協議整ハサル場合ハ地主八分小作人ハ種肥及耕耨料トシテ二分申受ケ候事

但シ立會調査ヲ得スシテ錄入シタル時ハ毛引又ハ小作料ノ減額ヲ請求セサル事

五、擔保又ハ増擔保ノ御請求アル場合ハ何時ニテモ相當ノ擔保ヲ差入可申候事

六、小作料ニ代ヒ換價金ヲ支拂フ時又ハ代物辦濟ヲ請フ時ハ貴殿ノ選任シタル評價人ノ評價ニ異議ヲ唱ヘサル事

七、灌溉費用ハ從來ノ習慣ニ因ルモノノ外ハ總テ拙者ニ於テ負擔可致候事

八、契約ノ趣旨ニ背戻スルモノト認ムル時ハ何時ニテモ解除申込ニ關スル民法ノ規定ニ因ラス貴殿ノ意思ノミヲ以テ解除シ得ヘキコトヲ約諾ス拙者ニ於テ解約セントスル場合ハ小作料皆納ノ上其年十一月中ニ限リ其申込ヲ爲ス事

九、期間滿了又ハ契約解除ノ場合小作地ニ異狀アリト認メラルル時ハ直ニ指定通り原狀ニ復シテ返戻可致候事

右契約候也

大正 年 月 日

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某

田 某



大正三年

住所

小作契約人 何

某 ㊦

住所

連帯保證人 何

某 ㊦

何 某殿

山形縣

七〇

（小作地使用ニ關スル制限）

東置賜郡漆山村大字羽付字高山原

- 一、田一反二十四步 同四畝二十八步 同三反八畝五步 同三反六畝十七步

合反別九反十四步

右小作ニ關スル誓約條項左ノ何項ニ相定ム

一、小作料二十五俵也

一ヶ年度納額如上

但シ納米ハ最モ品質ノ上等ニシテ一俵ハ四斗〇升〇合入レ上俵裝トス

二、小作年限ヲ本年ヨリ大正 年迄五ヶ年ト相定ム

但前記ノ期間内ト雖モ貴殿ニ於テ他へ賣買譲リ渡等ニ因リ右土地ノ所有權移轉シタル場合ハ解約スヘキ  
コト

三、納期（金納）七月十五日ノ兩期）米納ハ十二月十五日限リニ毎年上納致ス事但其當時ノ相當代價ナリ貴

殿ノ御撰擇ニ從ヒ可申事

四、小作土地ハ貴殿ノ認諾ヲ得スシテ猥リニ形狀變更又ハ他ノ境界線ト押引増減等ノ所爲無キ事

五、小作中天然地變ニ罹リタル場合ト雖モ其現狀ヲ貴殿ノ検査ヲ經テ相當ノ小作料減額ヲ受クル事若シ之レ

カ貴殿ノ検査ヲ請ハスシテ收穫物ニ着手シタル場合ニハ小作料ノ減額ニ與カルヲ得サル事

六、故意ニ惡種ノ肥料ヲ施シテ土地ノ瘠損ヲ來シタル場合又ハ本誓約第四項ニ反シテ減損ヲ生シタル場合及

畑地ニ於テハ畑ニ植置候桑又ハ建樹伐採及夏桑摘取等致シタル場合ニハ速ヤカニ損害ヲ辨償スル事

七、小作料ノ金穀等完納セリト雖モ前各項ノ一ニ違約シタル場合ニハ年限ニ不拘貴殿ヨリ解約ヲ言渡サルル

モ異議ナキ事

右土地前記ノ誓約ヲ以テ小作仕申候處正也若シ本人相滞リ候節ハ保證人連帯ニテ直ニ此約款ヲ履行可致候爲後日連署誓約如件



大正五年 月 日

東置賜郡漆山村大字漆山

小作人 何

某 ㊦

東置賜郡 町大字

連帶保證人 何

某 ㊦

何 某殿

一、小作料納入ノ場所

(地目反別表示)

右者貴殿御所有ノ田地御預リ耕業仕候上八年々々作徳米定額ノ通り正ニ御納可申候若凶作ノ年ハ鎌入前御檢見相願ヒ御目鑑ノ不作引申受無異議取可申候且拙者一分凶作致シ候節ハ不作引等ノ願立一切不申上候事

一、渡口米ノ儀者正米并俵拵等念入ニ仕年々十二月十五日ヲ定期トシテ御指圖ノ處ニ無相違御届可申候事

一、小作年限ヲ本年ヨリ向五ヶ年ト定メ一層耕業致注意怠惰ノ所業無之様可仕候事

一、小作本人作徳米不上納等有之節ハ保證加印ノ者ヨリ速ニ辨償可仕候事

一、小作本人不正ノ所業有之カ又ハ貴殿ニ對シ不埒ノ趣意有之候節ハ何時御引揚相成候トモ聊苦情不申候事

一、向後御改正相成候共作徳米ハ勿論不當ノ願一切不仕候事

但シ田面割直シ等ハ御指圖ヲ得執行可仕候事

一、貴殿御自作被成候節ハ何時タリトモ返納可仕候事

一、小作中不注意ヨリ前額耕地荒廢等致シ候節ハ加印ノ者ヨリ修繕入費等辨償可仕候事

右之條々致確守耕業一向ニ盡力可仕候爲後念保證加印ノ者相立御田地預リ小作誓約證券如件

年 月 日

小作人 何

某 ㊦

加印者 何

某 ㊦

地主 何 某殿

七二

(作離料、契約解除)

小作證



- 一 小作地之表示
- 一 此之小作料 玄米 何程
- 一 支拂時期 毎年十一月二十五日限り地主宅又ハ地主指定ノ場所へ運搬ノ上支拂可申事
- 一 小作期間 年 月ヨリ同 年 月迄 ケ年間
- 一 保證人ノ責任 連帶ニテ義務ヲ履行可致事
- 一 特 約 左ノ如シ

小作米ノ俵裝ハ二枚俵トシ米質精撰自家ノ一等品ニテ支拂フコト  
 小作料ハ玄米ナリ又ハ時價金ナリ御希望ニ隨ヒ支拂可申且ツ期限後ハ年二割ノ利子ヲ加算シ支拂可申事  
 小作地現形ノ變更ヲ必要トスルトキハ地主ノ許諾ヲ得ル事且ツ地主ノ許諾ナクシテ轉貸セサル事  
 地主カ小作地入用生シタルトキハ期間中ト雖モ該小作地ヲ現在ノ儘ニテ返還スルコト此ノ場合ハ地主又ハ支  
 配人ノ見込ニテ種子代或ハ肥料トシテ手當金ノ給與ヲ受クルコトヲ得但シ給與額ニ異議ヲ稱ヘサルコト  
 一回ニテモ小作料ノ支拂ヲ怠ルトキハ期間中ト雖モ五日間以内ニ小作地ヲ返還スルコト  
 小作人此ノ契約ニ違背スルトキハ別ニ通知ナキモ契約ノ解除ヲ諸シタルモノトシテ小作權ヲ失フコト  
 解除期間ハ民法上ノ期間ニ遵ハス五日間ヲ以テ終了トス

右之條件ヲ約シ土地小作候處如件

年 月 日

小作人 何 某 ㊟  
 保證人 何 某 ㊟

出羽村大字漆山

何 某 殿

七三

一(契約更新・督促手数料、不作時ノ小作料減免)一

小作證

貴殿御所有末尾記載之地所小作致候ニ付左ノ事項ヲ締結シ堅ク相守リ可申候事

第一 期限ハ明治 年 月ヨリ同 年 月迄 箇年間トス滿期後ト雖更定セサル場合ハ尙ホ效力  
 ヲ有スルモノトス

但貴殿ニ於テ右地所御入用ノ場合ハ何時ニテモ當時現狀ノ儘御返還可仕候事

第二 立附小作料ハ品質精良ナルモノヲ撰擇シ毎年十二月三十日限貴殿方へ持參納付可仕候事

第三 土地ニ對シテハ肥料ノ施用害蟲ノ驅除豫防其他耕作上至當ノ注意ヲ以テ取扱ヒ精勵スル事又土地ニ對



シ永久ノ損害ヲ生スヘキ所業等ハ誓テ致間敷事

第四 本契約ノ期限内ハ小作地ヲ他人ニ轉貸シ又ハ小作權ヲ抵當物ニ供シ若クハ賣却等致間敷事

第五 小作料納付ノ期間中皆納セス督促ヲ受クル時ハ督促手數料ヲ支拂フヘキ事

但督促手數料ハ一回米大豆共一俵ニ付金 錢トス俵以下ノ端數ハ俵ニ切上ルモノトス

第六 小作料納付ノ期限ヲ怠リ又ハ本契約ニ背キ貴殿ヨリ屢注意ヲ受クルモ尙ホ改悛致サザル時ハ何時ニテ

モ本契約御解除相成候共異議申間敷候事

第七 一般不作ノ際ハ御實檢ノ上相當ノ小作料切引ヲ可被下事切引ニ對シ歩合ノ協議調ハス苜分致場合ハ右

苜分ニ係ル田ノ收穫ノ七分ハ貴殿ノ所得トシテ御指定ノ場所ニ運搬ノ上御渡可申事

第八 總テ本契約ノ實行ヨリ生スル責務ニシテ小作人ニ於テ負擔セサル時ハ保證人一切其責ニ任シ履行可仕

候事

明治 年 月 日

北村山郡

町大字

番地

小作人 何

某 ㊦

北村山郡

村大字

番地

保證人 何

某 ㊦

北村山郡大石田町大字大石田

何 某 殿

(末尾記載省略)

福 島 縣

七 四

(契約更新、小作地ニ係ル負擔、小作料滞納ノ處置、訴訟管轄裁判所)

小 作 約 定 證

貴殿所有後記表示ノ地所今般拙者ニ於テ耕作ノ爲借用仕候處實正也就テハ拙者共連帶責任ヲ以テ左ノ通り契約致シ堅ク履行可仕候

一、小作約定期間 自大正 年 月 日 何ヶ年 至大正 年 月 日

但シ期限後ト雖モ尙引續キ耕作致居候場合ハ賃借人ハ勿論保證人ニ於テモ本契約ハ繼續履行可致候

二、小作料ハ後記記載ノ通り年ノ豊凶ニ不拘毎年十一月二十日迄ニ持參ノ上計納可致候



三、賃借地ノ境界ハ勿論畦畔堀敷水溜其他ノ物件ニ對シテハ豫メ御指圖ヲ待ツニ非サレハ新設變換等致間敷候又樹木其他ニ對シテモ御承諾ヲ得ルニ非サレハ伐採、枝伐等致間敷候

四、賃借物ニ對スル公租公課以外ノ諸係リ並ニ小普請等ノ費用ハ賃借人ニ於テ負擔可致候

五、豫メ貴殿ノ承諾ヲ得スシテ賃借物ノ一部タリトモ轉貸セサルハ勿論賃借權ノ讓渡致間敷候

六、賃借期間内ト雖モ本契約ニ違背シ若クハ賃借物ノ保護又ハ手入不充分ト認メラルル時ハ何時ニテモ御請求次第返地可申候(貴殿ニ於テ必要相生シ候場合ハ何時ニテモ小作地引揚不苦候ト有ルモアリ)

七、賃借人ニ於テ本契約ヲ履行セサル時ハ延滞中ノ最高相場ノ代金ニ換算シテ御請求相成候トモ異議無之其延滞期內ニ於テハ年二割ノ損害御請求相成候トモ不苦候

八、保證人ハ賃借人ト連帶シテ債務ノ責ニ任シ可申候

九、本契約ニ關シ訴訟提起ノ場合ハ事物及土地ノ管轄ハ何々區裁判所ト爲ヌヲ合意仕候

右各項合意ノ上契約仕候處實正也

爲後日保證人連署ヲ以テ小作約定書依如件

年 月 日

住所 小作人 何 某 ㊦

住所 保證人 何 某 ㊦

地主 何 某 殿

後記

一、何縣何郡何町何字何番地  
田 何反何畝何步

此小作料玄米何石何斗何升 但シ一反當何石何斗何升

一、何縣何郡何町何字何番地

畑 何反何畝何步

此小作料大豆何石何斗 但シ一反當何石何斗何升

七五

一(小作地ニ係ル負擔、小作料納入ノ場所)一

小作證書

一、何縣何郡何町何字何番地



此水田(又ハ畑地)反別 何町何段何畝何歩  
此小作料年額 玄米何石何斗何升

但シ一反當リ何石何斗何升

右貴殿御所有ノ耕地前記小作料ヲ以テ大正 年 月ヨリ大正 年 月迄向フ何年間小作仕候處實  
正也然ル上ハ小作料ノ儀ハ毎年 月 日限リ貴殿御指定ノ場所ニ持參ノ上相納可申小作地ノ使用  
ニ關シテハ其ノ形狀ヲ變セス又他ヘ轉貸質入等一切致間敷且土地ニ對スル諸人足ハ總テ拙者ニ於  
テ負擔可仕若シ天災等ノ爲メ收穫減少致候共小作料ノ減免等一切御請求申間敷萬一本人ニ於テ小  
作料ノ上納滞リ候等ノ場合ハ保證人ニ於テ引受辨償仕リ聊モ貴殿ニ御損失相掛申間敷猶義務不履  
行等ノ場合ニ於テハ契約期間内ト雖モ小作地引揚候共異儀無之候  
爲後日保證人連署ノ上小作證書依如件

年 月 日

住所

小作人 何

某 ㊦

住所

保證人 何

某 ㊦

地主 何 某 致

茨 城 縣

七六

(簡單ナルモノ)

小 作 證 書

何郡何村大字何何番地

一、田(畑) 何段何畝歩

此ノ小作米(金)玄米何程(現物納ノ場合ハ改良俵裝検査濟何俵何斗)

右ノ地所今回拙者ニ於テ何年ヨリ何年迄向フ何年間小作仕リ候處實正也然上ハ毎年十二月二十五  
日限リ前記小作料ヲ納付仕ルヘク若シ違約ノ場合ハ我等保證人ニ於テ岐度引受聊カ貴殿ニハ迷惑  
相懸申間敷爲後日小作證書依テ如件



年 月 日

住所

小作人 何

某 ㊦

住所

保證人 何

某 ㊦

住所

何 某殿

七七

小作證書

何郡何町大字何何番

一、田(畑) 何段何畝何歩

此小作米(金)何程(米ニ於テハ検査濟何俵何斗何升)

右ノ地所ハ今般拙者ニ於テ何年ヨリ何年迄向フ何年間小作仕候處實正也然ル上ハ毎年十二月二十  
五日限リ前記小作料ハ無相違納入仕ル可該土地ニ係ル小作料ノ貸與又ハ權利賣買等ノ所爲一切致  
間敷候 尙貴致ニ於テ該土地御入用ノ場合ハ期間内ト雖返付申越ノ場合ハ現作付收穫ノ上異議ナ  
ク御返地可申萬一本人ニ於テ違約候様ノ場合ハ保證人ニ於テ一切引受契約履行致シ貴殿ニ御損毫  
モ相懸申間敷候爲後日保證人連署ノ上小作證依テ如件

年 月 日

住所

小作人 何

某 ㊦

住所

保證人 何

某 ㊦

住所

何 某殿

七八

〔小作地使用ニ關スル制限〕







群馬縣

七九

（簡單ナルモノ）

小作證

何郡何村大字何字何番地

一、田 何段何畝何歩

此小作料一ヶ年米四斗入 何俵何斗定メ

右之土地貴殿御所有ノ所當大正 年 月 日ヨリ來ル 年 月 日迄 ヶ年季ト

相定メ借地小作仕候所實正也然ル上ハ小作料ノ儀ハ毎年十二月 日限り無相違御指定ノ場所へ  
持參可致候萬一其期ニ至リ相滞リ候ハハ保證人ハ連帶ノ責任ヲ負ヒ速ニ辨償皆濟可致候將又地所  
御入用ノ節ハ期限中タリトモ返地可致候爲後日小作證書依而如件

大正 年 月 日

住所

小作人 何 某 ㊦

住所

保證人 何 某 ㊦

住所

何 某 殿

八〇

（不作時ノ小作料減額、小作料滞納ノ處置、契約解除、小作料改定）

耕地貸借契約證

群馬縣佐波郡	村	番地
地主 何		某
群馬縣佐波郡伊勢崎町		番地
小作人 何		某



町村名	字	地番	地目	反	別	一ケ年小作料
伊勢崎町		番				
伊勢崎町		番				
伊勢崎町		番				
伊勢崎町		番				
伊勢崎町		番				

今般前記ノ土地耕作ノ目的ヲ以テ貸借ヲ爲シ左ノ條件ヲ契約ス

第一條 貸借期間ヲ左ノ通定ム

田 大正 年 月 日ヨリ大正 年 月 日迄トス  
 畑 大正 年 月 日ヨリ大正 年 月 日迄トス

第二條 小作料ハ右記載ノ通りトシ品質ヲ撰ミ左記期日迄ニ地主方へ持參納付スルコト

米納期 翌年二月十五日限り 麥納期 毎年七月三十日限り

第三條 小作料ハ豊凶ニ不拘約定ノ通り納付スルコト但シ不可抗力ニ依リ作物二分ノ一以上滅失シタル時ハ此限ニアラス

第四條 期限後ノ小作料納入者ニ對シテハ獎勵米ノ交付無キモノトス

第五條 小作人ハ土地ヲ目的以外ニ使用セス且ツ荒蕪セシメサル様最善ノ注意ヲ爲ス事

第六條 小作料延滞三ヶ月以上ニ及フトキハ其土地ニ仕付アル作物ヲ地主ニ於テ隨意ニ處分シ延滞小作料ノ内へ領收シ同時ニ土地ヲ引上クルモ小作人ニ於テ異議無キ事但シ換價ノ相場ハ地主ノ見積ニ依ルモノトス

第七條 小作人ハ土地ノ轉貸ヲ一切爲ササル事

第八條 期間内解約セントスル時ハ田ハ三月十五日迄ニ畑ハ八月十五日迄ニ相手方ニ豫告スルコト但シ收穫及仕付ニ支障無カラシムル事ヲ要ス

第九條 特別ノ事情アル場合ニ地主ニ於テ速時返地ヲ要求スル時ハ小作人ハ是ニ應スルモノトス但シ農作物ニ損害アルトキハ兩者ニ於テ賠償額ヲ協定シ地主之ヲ負擔ス

第十條 期間中小作料ノ變更ヲ爲サムトスル時ハ田ハ 月 日畑ハ 月 日迄ニ相手方へ通告シ同時ニ小作調査會へ申出同會ノ決スル處ニ據ル萬一此決定ニ應セサル場合ハ解約スルモノトス但シ調査費ハ小作調査會ノ規定ニ從ヒ變更申出者ノ負擔トス

第十一條 保證人ハ地主ニ對シ小作人ト連帶ニテ契約履行ノ義務ヲ負フ

右ノ契約ヲ證スル爲メ本證ニ通ヲ作製シ各一通ヲ所持スルモノトス

大正 年 月 日

右貸地人 何

某 印



備考

第十條ノ小作調査會ハ佐波郡伊勢崎町ニ於テ其ノ區域内ニ居住スル自作農、小作農ヲ以テ伊勢崎農業團ナルモノヲ組織シアリ其ノ中ニ團員(自作農、小作農)ヲ委員トシテ設置シアルモノニシテ同町農會ノ指導ヲ受ケツツアルモノナリ

右借地人 何 某 ㊦

群馬縣佐波郡伊勢崎町 何 番地 某 ㊦

保證人 何 某 ㊦

群馬縣佐波郡伊勢崎町 何 番地 某 ㊦

保證人 何 某 ㊦

栃 木 縣

八一

—(小作地ニ係ル負擔)—

小 作 證 書

何郡何町大字何番地

一、田(畑) 何段何畝何歩

此小作料一ヶ年何石何斗何升也 但本縣穀物檢査合格米トス

右貴殿御所有ノ土地拙者使用仕リ大正 年 月ヨリ 年 月迄何箇年間小作仕候處確實也然ル上ハ現狀ノ儘小作仕リ該土地ニ永久損害ヲ及ホス等ノ所爲一切致間敷尙該土地畦畔其ノ他小破損ハ拙者ニ於テ修理可致候提塘其ノ他ノ大破損ノ場合ハ貴殿ト協議ノ上修理可致候事小作料ハ毎年十一月二十五日限無相違上納仕リ不作等ノ年ト雖決シテ免引等請求中間數候萬一本人ニ於テ右期間内ニ上納兼致候節ハ保證人ニ於テ一切相引受聊カモ貴殿ニ損毫相掛申間敷爲後日保證人連署ノ上小作證書仍如件

年 月 日

郡 町 大字 番地

小作人 何 某 ㊦

郡 村 大字 番地



地主 何 某殿

保証人 何 某 ㊦

八二

〔小作料納入ノ場所、小作地ニ係ル負擔、契約解除〕

小作 證書

足利郡北郷村大字何字何

第 何 號

一、反別 何程

外 何筆

一、計 反別 何程

此小作料一ヶ年 何程

右之土地賃借致候處確實也就テハ左ノ條件堅ク遵守可仕候也

一、賃借期限ハ大正 年 月 日ヨリ大正 年 月 日ノ事

一、前書小作料ハ最年最上品ヲ支拂可申候

但シ

一、賃借料ハ毎年 月 日限リ指定ノ場所ヘ持參可仕候

但シ賃借料支拂期限經過後支拂ヲナシ能ハサルトキハ其換算價格ヲ御指圖ニ任セ支拂可申候

一、賃借地ニハ五穀ノ外耕作ヲナサス且地質ヲ粗悪スルカ如キ肥料ヲ施用セス其他隣地ヘ障害ヲ加ヘサルハ勿論尙隣接セル溝渠ヲ浚ヒ畦畔ヲ修繕シ及水配費等ハ一切賃借人ノ負擔トス

一、不可抗力ニ因リ收穫力賃借料ヨリ少キ見込ノトキハ收穫季前其狀況ヲ申出テ貴殿ノ査定ヲ乞ヒ指定ノ減額ニ應シ異議ナク支拂可申候

一、賃借地ハ轉貸ヲナササルコト且收穫前立毛ヲ賣却セサルコトヲ約ス

一、前各項ノ條件ニ違背シタルトキハ期限中ト雖モ期限ノ利益ヲ失ヒ契約ヲ解除セラルルモ異議無之候此場合ニ於テハ土地及耕作物加耕行爲等ハ其儘貴殿ヘ引渡可申候且本項契約解除ノ場合ニハ單ニ通知ノミヲ以テ解除アリタルコトヲ承諾ス

一、前各項ニ違背セサル時ト雖モ貴殿ノ御都合ニヨリ解約ノ節ハ次ノ耕作ニ着手前御通知相成候ヘハ無償ニテ異議ナク解約可仕候

一、保証人ハ賃借人ト連帶シテ義務履行可仕候賃借期限後賃借ヲ繼續スルトキハ保証モ亦契約ノ解除アルマテ繼續スルモノトス



右條々決シテ違背仕間敷爲後日土地借受證依テ如件

大正 年 月 日

足利郡北郷村大字 番地

賃借人 何 某 ㊦

足利郡北郷村大字 番地

保證人 何 某 ㊦

何 某 殿

八三

（不作時ノ小作料減額、小作地ニ係ル負擔、小作地反別）

小作證書

鹽谷郡何町大字何字何

一田

何程

此小作米

何程

但四斗入

右貴殿御所有地ヲ借用シ鹽谷郡地主會小作米取扱規程及左記ノ各條ヲ確守シ小作仕候事

第一條 田地小作期限ハ明治 年一月ヨリ明治 年十二月迄ト相定候事

第二條 小作米ハ産米検査ニ合格シタル最上米ヲ撰ヒ毎年十二月二十日限り貴殿方へ附送り榭目又ハ斤量等

御検査相受ケ納付可仕候事

第三條 水旱損又ハ凶年ノ爲メ收穫三分ノ一以上減損ト認ル時ハ其事情ヲ苜取前ニ申立小作米ノ減額ヲ請求

スル事ヲ得ヘシ然ル時ハ御検査ノ上至當ノ申立ト御認定相成候時ハ相當ノ減額可相成候事

但苜取後ノ申立ハ其事情ノ如何ニ拘ハラズ無効トシテ御採用無之事

第四條 水害其他破損ノ箇所ヲ生シタルトキハ御檢分相受協議ノ上小破修繕ハ私方ニ於テ負擔シ大破ニ係ル

モノハ相當ノ義務相盡シ候上ハ貴殿ニ於テ御負擔可相成候事

第五條 貴殿ノ御承諾ヲ經スシテ漫リニ他人ニ復小作ヲ爲サシメ又ハ其他ノ目的ノ爲メ賃貸等決シテ仕間敷

候事

第六條 地質ヲ荒瘠スヘキ農作物及肥料ハ勿論桑茶等ノ植付其他地形ノ變更ハ貴殿ノ御承諾ヲ得ルニ非ラサ

レハ決シテ着手致間敷候事

第七條 小作反別ニ小異動ヲ生スルモ之レカ爲メ小作米ノ定額ニ増減等無之候事

第八條 小作ノ地所貴殿ノ御入用ニ依リ壹箇年前ニ豫告セラルル時ハ契約期限内ト雖モ解約返地可仕候事

第九條 小作ノ地所正當ノ理由ナク耕作ヲ怠リ又ハ前各條ノ規定ニ違背シタル時ハ本契約ヲ取消シ若シ損害



アル時ハ之レヲ負擔シ土地ハ速ニ返還可仕候事  
第十條 本契約期限經過ノ上ハ直ニ御返地可仕萬一作物ノ都合等ニ依リ即時御返地仕兼候時ハ更ニ貴殿ノ御  
指揮ニ任セ新ニ御約定可仕候事

右契約ノ確實ヲ證スル爲メ記名捺印ノ上差入申小作證依而如件

明治 年 月 日

栃木縣 郡 村大字

小作人 何

某 印

鹽谷郡何町

地主 何

某 殿

右小作人萬一該契約書ニ相反シ候節ハ保證人共ニ於テ一切引受貴殿ニ對シ聊カ御損失相掛申間敷  
候依テ保證致候也

鹽谷郡 村 大字 字

保證人 何

某 印

埼玉縣

八四

〔小作料ノ品質、契約更新〕

土地賃借契約證書

一、田 何反歩

但別紙明細書ノ通り

此賃借小作料

何程

一ケ年分

一、畑 何反歩

但別紙明細書ノ通り

此賃借小作料

何程

一ケ年分

右土地前書ノ賃借料ヲ以テ賃借仕リ左ノ事項ヲ契約ス

- 一、賃借期間ハ何年何月ヨリ何年何月迄滿何ケ年トス
- 二、田小作料ハ毎年何月畑小作料ハ何月トシ凡テ其ノ月二十五日限り全納可仕候
- 三、田(畑)小作料納入期日ニ上納致ササル時ハ双方合議ニ依リ時價ニ依リ代金ニ換算上納可仕候
- 四、田小作料ハ合格米ヲ以テ上納可仕候若シ天災等ノ不可抗力ニ依リ不合格米ヲ生シタルトキハ合議ノ上授



受スルコト

五、田畑作共不可抗力ニ依リ收穫不十分ナルトキハ御檢定ノ額ヲ上納可仕候  
六、賃借地ニ對シ將來ニ危害ヲ殘ス變更ハ勿論賃借中ハ至當ノ修理改善ヲ加ヘ入念ニ肥耕シ苟モ地味ヲ害スル行爲ハ致シ間敷候

七、賃借地ハ地主ノ承諾ナクシテ他人ニ轉貸並借地境界線ヲ亂シ或ハ目的地以外ニ使用スルハ勿論承諾ナキ施設ヲ爲ササル事

八、地主ニ於テ賃借地必要ノ請求アリタル場合ハ一ヶ月内ニ必ス明渡シ可申候

九、賃借人ニ於テ前條第二項乃至第七項ニ違反シタルトキハ賃借期間内ト雖賃借契約ハ解除ノ請求ニ應ジ即時ニ上地可仕候

一〇、賃借期限中地目ヲ變更シ候モ不苦候此ノ場合ニ於テハ請求ニ依リ當該種目ニ賃借料ノ引直シ可申候

一一、賃借地上地ニ際シ作付シアリ賃借料ノ延滞若ハ賠償金ノ債務アルトキハ右金ニ充テ隨意御收得可被下候但不足アルトキハ直ニ支拂可申候

一二、賃借人ハ前掲ノ外尙慣例ニ依リ負擔スヘキ一切ノ義務ハ必ス履行ノ責ニ可仕候

一三、宅地ハ一ヶ月以前ニ明渡シ御請求ノ時ハ必ス期間内ニ返地可仕候若シ其ノ期日ノ經過スルモ明渡ヲ果ササルトキハ貴殿ニ於テ建造物取毀シ候モ決シテ異議申間敷候該取毀シニ要セシ費用ハ辨償可仕候

一四、賃借期間ヲ經過スルモ双方異議ナキトキハ本契約ニ依リ賃借ノ存續ヲ承認ス

右賃借契約證書仍テ如件

保證人ハ本人ニ於テ支拂期日ニ債務不履行ノ節ハ連帶債務者トナリ一人ニテモ全部支拂ノ責ヲ負擔可仕候

年 月 日  
住所  
賃借人 何 某 印  
住所  
保證人 何 某 印

八五

（小作期間、小作料滯納ノ處置）

千葉縣



小作證

山武郡土氣本郷町大椎字御尙崎千百六十七番地

一、田 一反二畝二十八步

同 所千百六十八番地

一、田一反二畝十三步

同 所千百六十九番地

一、田 一反八畝二步

此小作料一ケ年十五俵也

右ハ貴殿所有之土地當大正七年度ヨリ存續期間十箇年ト定メ我等小作仕リ候事實正也於然テハ小作米ハ毎年十二月三十日限り精選シテ合格米附ケ送り申ヘク候尤モ一ケ年度分延滞シタル時ハ前記ノ土地ニ對シ買ヒ戻シ得ラルル特約ハ無效タル事爲後日保證人加判小作證仍如件但シ延滞シタル時ハ小作米十五俵ハ保證人ニテ引受貴殿ニハ迷惑相掛ケ申間敷候

大正七年一月十七日

山武郡土氣本郷町大木戸五百二十一番地

同 郡

同

何 所

某 印

何

某 印

立會證人

何

某 印

同郡同町小山

何 某 殿

八六

一(小作期間、小作地ニ係ル負擔、小作地使用ニ關スル制限)一

小作證書

一、古畑 何步

此ノ小作料一ケ年ニ付金何圓也

右ハ拙者小作致度候ニ付左ノ條項相守リ可申候也

一、小作期間 年 月ヨリ 年 月迄滿十ケ年間トス

千葉郡大和田町何番



但シ貴殿ニ於テ入用ノ爲返地ノ場合ハ其ノ後六ヶ月以内ニ異議ナク返地仕候  
 二、小作料ハ毎年七月二十日及十二月二十日限り二回ニ分納スル事  
 但シ上納致兼候節ハ保證人ニ於テ引受上納仕リ貴殿ニ損失相掛ケ申間敷候  
 三、小作地ニ係ル公租公課以外ノ本土土地ニ對スル費用ハ一切拙者ノ負擔ニ候事  
 四、契約期間中本契約ヲ解除セラルルカ又ハ滿期ニテ小作地ヲ返付致ス場合ハ本土土地ハ現地ノ儘御引渡可申候事

五、本土土地耕作上ニ於ケル一切ノ處分ハ拙者ノ自由タル事  
 但シ處分ノ際ハ豫メ貴殿ニ承諾ヲ求ムル事

右條々相違ナク相守可申萬一小作人ニ於テ契約ニ違背致候節ハ保證人ニ於テ屹度辨濟ノ義務ニ可任爲後日小作人保證人連署ノ上本證入置キ候事仍テ如件

年 月 日

郡 町 番地  
 小作人 何  
 郡 村 番地  
 保證人 何

地主 何 某 殿

東京府

八七

土地賃借證書

一、所在地 何郡何村何字何番地  
 一、畑(又ハ田) 反別 何程  
 一、小作料 何程

前記貴殿御所有ノ土地小作地トシテ賃借致シ候ニ付テハ左記條々堅ク遵守シ決シテ違背仕間敷誓約致候

第一條 賃借期間自大正 年 月 日滿何ケ年間



第二條 賃借料ハ大正 年 月 日限り貴殿御指定ノ場所ニ支拂候

第三條 賃借料延滞シ又ハ土地ノ荒廢シタル時ハ土地ノ返還請求ハ勿論如何ナル御處分ニ相成候トモ貴殿ノ任意ニテ異議無之事

第四條 賃借地ノ現形ノ變更アル時ハ地主ノ承諾ヲ要スルコト

第五條 賃借ノ土地ニ聯着スル地上ノ物件(果樹桑樹茶樹等之ニ類スルモノ)ハ地主ノ承諾ナクシテ掘取伐採必ス致ササルコト

第六條 地主ニ於テ土地ノ必要相生スル時ハ異議ナク土地ヲ返還致スヘキコト

右條約ヲ締結シ土地賃借證書ノ差入仍如件

大正 年 月 日

住所

賃借人 何

某 印

地主 何 某 殿

神奈川縣

八八

—(簡單ナルモノ)—

小作證書

高座郡有馬村門澤橋

字跡堀千七百七十番	田	三畝二十五步
同 千七百六十九番	田	三畝 八步
同 千七百六十八番	田	二畝十六步
同 千七百六十七番	田	二畝二十三步
同 千七百六十六番	田	二畝十一步
計		一反四畝二十三步

此小作米四俵 三斗六升四合

但年期 大正十年九月ヨリ 大正十五年八月迄 五ケ年間

一、小作米八年々十二月二十五日限り相當品質ノモノニテ支拂スルコト

二、違作引ハ地主ト小作人ト相互間ニ於テ決定スルコト



右ノ通り契約候ニ付必ス履行可仕候後日ノ爲メ小作證書如件

大正九年十月七日

有馬村門澤橋一〇一

小作人 何

某 ㊦

地主 何 某 殿

八九

(小作料納入ノ場所、契約解除、小作地ニ係ル負擔)

小作 證書

何郡何村何字何番地

田 何反何畝何歩

同

畑 同

同

田 同

計

田 何反何畝何歩

畑 何反何畝何歩

右一ケ年小作料玄米何石何斗何升何合

期間 大正何年何月何日ヨリ 五ケ年間

但シ満期ニ至リ合意ノ上契約ヲ繼續スルコトヲ得

一、小作年度ハ毎年四月一日ニ始メ翌年三月三十一日ヲ以テ終リトシ毎年十二月二十五日限り生産検査乙等米ヲ以テ貴殿御指定ノ場所ニ納入可仕コト

一、天災地變等不可抗力ニ因ル違作引ニ關シテハ地主小作相互ニ於テ決定ノコト

一、小作人ノ都合ニ依リ期間中契約ヲ解除セムトスル時ハ八月ヨリ十月迄ノ中ニ其ノ旨申出貴殿ノ承諾ヲ得テ次年一月中ニ返地スルコト

一、地主ノ都合ニ依リ本地返還ノ必要アル場合ハ三ケ月前ニ其ノ旨通知ヲ受ケ本地引上料トシテ貴殿ト協商セシ適當ノ價格ヲ以テ解除ス但シ收穫前解除ノ場合ハ收穫終了迄本地ヲ使用スルコト

一、小作地ヲ目的以外ニ使用シ又ハ果樹其ノ他ノ樹木ヲ栽植シ若ハ土地ノ使用權ヲ第三者ニ讓渡スル場合ハ豫メ地主ノ承諾ヲ得ルニ非ラサレハ一切爲ササルコト

一、契約土地ノ租税公課ハ地主ノ負擔トシ其他ノ費用ハ總テ小作人ノ負擔タルコト  
右ノ通契約候ニ付必ス履行可仕後日ノ爲メ小作證書如件



大正 年 月 日

何郡何町何番地

小作人 何

某 ㊦

同 何番地

保證人 何

某 ㊦

同 何

某 ㊦

地主 何 某殿

新潟縣

九〇

(小作米ノ俵裝、小作地ニ係ル負擔)

小作地控預證

一、反別 何反何畝何歩

但シ別紙一筆限ノ通り

此ノ入附米 何俵何斗何升何合何勺也

右ハ貴殿御所有地本年ヨリ昭和五年マテ向フ三ケ年間拙者小作地トシテ控預リ候處確實也然ル上者左記各項ヲ堅ク相守可申候事

一、入附米之儀者品質精選シタル玄米一俵ノ容量四斗詰トシテ納米可仕候事

一、俵裝ハ二重皮拵ニシテ明治四十年四月縣令第三六號及告示第一七二號俵裝標準ニ基キ製造可仕候事

一、納米ノ儀ハ貴殿御指定ノ藏納日( 月 日)ニ藏所へ運搬検査済ノ上皆済可仕候事

一、貴殿ノ御承諾ヲ得ス隨意ニ地目ヲ變換シ又ハ地盤ノ變更等ノ義ハ決シテ致ス間敷候事

一、小作地ノ境界ハ大切ニ相守リ反別ノ減歩ハ勿論爲ニ紛事等惹起セサル様充分注意可仕候事

一、小作地ノ又貸ハ決シテ不仕候若シ止ムヲ得サル場合ハ必ス貴殿ノ御承諾ヲ求メ候事

一、明治四十一年本縣訓令第一號諭告第一號農事改良事項ハ勿論其ノ他農事ニ關スル法律命令ハ堅ク遵守シ

且ツ小作地ニ係ル諸人夫ハ渾テ拙者ニ於テ相勤メ可申候事

一、拙者ニ於テ各項中一項タリトモ違背シタル節ハ勿論他ニ不都合ト認メラルル行爲アリタル節ハ直チニ小

作地御引放シ何方へ御貸付相成候共聊カ異議申上間敷候事

一、前項土地引放シノ際該地上ニ拙者所有ノ竹木類存在スルモ無償ニテ貴殿ノ御所有タルヘキコトニ異議申



問敷候事

- 一、公益上土地收用ノ必要ヲ生シタルトキハ何時ニテモ地所御返シ可申候事
- 一、本契約ニ違反シタルトキハ何時ニテモ契約解除セララルモ異議申問敷候事
- 一、本證ニ署名ノ保證人ハ渾テ連帶ノ責任ヲ有スルモノナルカ故ニ若シ本人ニ於テ前記各項違背シタルトキハ本人ノ不在ニ拘ラス同様ノ義務ヲ負ヒ貴殿ヘ聊カ御迷惑相懸ケ間敷候事

右小作地控預證保證人連署ヲ以テ爲後日證差入申候處仍而如件

昭和 年 月 日

何那何村大字何字何

小作地控預主 何

某 ㊦

同 所

保證人 何

某 ㊦

住所

何 某殿

富山縣

九一

（不作時ノ小作料減額）

耕地小作證書

一、合段別 何程

此小作米

何程

納期ハ本年

月

日

月 日迄上等米ニテ相納可申候事

右今般貴殿所有ノ地所大正 年 月 日限り耕地小作仕候處確實也然ル上ハ前記載ノ通り

小作米御指圖ノ場所ヘ持運ヒ相納可申候

- 一、有間敷ニ候得共凶作ノ年柄ニテモ御勘辨等ハ聊カ成トモ決シテ申立問敷候
- 一、耕地附後ト雖モ不都合ノ廉有之時ハ該地所御引上ニ相成候トモ其際一言タリ共彼是不申候
- 一、萬一違約候節ハ本人ニ成代リ請人ニ於テ萬事引受速ニ小作米相納可申候

右之如ク確ト約定致候處相違無之若シ納不足或ハ不注意ナル仕業行ヒ候時ハ拙者共財産何ナリト



モ御勝手ニ引取被成候テモ一切故障申間敷候依テ爲其證如件

大正 年 月 日

何 某 殿

小作人 何 某 印  
請人 何 某 印

福 井 縣

九二

一(小作地ニ係ル負擔)一

小 作 證

一、何町何反何畝歩

但シ別紙地目字分明細書之通

此ノ小作料一ヶ年何石何斗

右者拙者小作致候事實正ナリ就テハ左ノ條項嚴守可申後日ノ爲證書差入申候也

- 一、小作期間ハ大正何年一月ヨリ何年十二月迄ト相定候事
- 二、納入期日場所ハ毎年十二月二十日限り貴殿宅ニ上納可仕事
- 三、拙者ノ造成セシ土地改良修繕費ハ一切拙者負擔ニ候事
- 四、小作料滯納及其他拙者ノ不都合ヲ御懸念ノ場合ハ納米期ニ不拘粗ノ儘御請求相成候モ不苦候事
- 五、小作地返還ノ際ハ小作地ヲ現狀ノ儘御引渡申候事

大正 年 月 日

福井縣吉田郡西藤島村大字地藏堂第 號 番地

小作人 何 某 印

地主 何 某 殿

九三

一(小作期間)一

借 地 證 書



今立郡舟津村西鯖江地籍

一 合計反別 一町二反三畝步

此借地料米三十五俵ナリ

字	番	反	別	借地料米	字	番	反	別	借地料米
西鯖江五號三番			五反		西鯖江三號一番			三反	
				十七俵					十俵
同 三號七番			二		同 四號四番			三反三畝	
				六					七

右貴殿御所有ノ土地明治四十四年五月十日ヨリ大正十年五月十日迄十ケ年間借地致候處確實ナリ然ル上ハ毎年十二月二十日限り前借地料無相違納付可致候萬一聊カニテモ相滞リ候時ハ期限内ト雖モ貴殿ヨリ土地返還ノ命ニ應シ異議ナク無償ニテ直ニ返還可致ハ勿論土地返還ノ場合ニ於テハ受取タル時ノ形状ニ復スヘク且借地權ハ期限内ト雖モ他人ニ轉賣シ又ハ抵當異物トナシ土地永久ノ損害ヲ生スヘキ事等ハ凡テ貴殿ノ許諾ヲ經スシテ着手セス若シ本人他行不在及借地料延滞ノ時ハ凡テ本人ノ義務保證人ニ於テ連帶ニ履行シ貴殿へ損害相掛申間敷候爲後日借地證書仍テ如件

大正元年十月三十日

福井縣今立郡新横江村東鯖江第 號 番地

借地人 何

某 ㊦

同縣同郡舟津村西鯖江第 號

番地

保證人 何

某 ㊦

何 某殿

山 梨 縣

九四

〔小作地ニ係ル負擔〕

小 作 證

何村之内舊 耕地

一畑 何程

此小作金

何程



但シ小作金延納之分其翌日ヨリ

利子相添上納可仕候

右者貴殿御所有土地當大正 年一月ヨリ來ル大正 年十二月迄 年々私小作仕候處相違  
無之候然ル上ハ不作等不致様精々丹精可仕ハ勿論旱害霜災其他如何ナル時變ニ相當スルモ定小作  
之儀ニ付キ引方等一切不相願頭記ノ金圓年々六月三十日限り屹度上納可仕候右小作金不納スル歟  
或ハ約定期明之年ハ小作繼續ノ承諾ヲ得サレハ秋桑葉更ニ摘入レ不申若シ猥リニ摘取候節ハ何様  
ノ御處分有之モ云々不申上而シテ其地ニ仕付之諸作物御引取之上年期ニ係ラス地所御取上相成候  
共其節一言ノ否無之且不納不足等相立候トモ本人ニ不拘悉皆保證人引受辨償シ貴殿へ毫モ御損毛  
相掛申間敷候爲後日證書仍如件

但頭書地所ニ依ル土手其他破壊ノ箇所出來候ハハ必ス拙者方ニテ修繕仕可候尤モ大破ハ此限ニアラス

大正 年 月 日

東山梨郡七里村

小作人 何

某 印

郡村

保證人 何

某 印

（契約解除）

土地賃借契約書

第一條 左ニ掲クル土地ノ使用收益ヲナス目的ヲ以テ耕作スル爲賃借シ借賃ヲ支拂フコトヲ約ス

東山梨郡七里村字何番

一畑 何段何畝何歩

此賃借料一ケ年 粃何俵 粃  
金何圓

第二條 土地ノ租稅其他ノ公課ハ賃貸人ニテ負擔スルコト

第三條 借賃ハ毎年 月 日ニ賃貸人ノ住所ニ於テ之ヲ支拂フヘシ

第四條 賃借ノ期間ハ此契約締結ノ日ヨリ 年トス

第五條 前條ノ期間内ト雖モ各當事者間ニ解約ヲナスノ權利ヲ有ス此場合ハ作物ノ收穫季節後次

ノ耕作ニ著手スル前ニ解約ノ申入ヲ爲シ其申入ニ因テ賃貸借ヲ終了ス

第六條 賃借人ニ於テ借賃ノ支拂ヲ怠ルトキハ賃貸人ハ何時ニテモ土地ノ明渡ヲ請求スルコトヲ



得但賃借人ハ延滞ノ借賃ヲ支拂フ義務ヲ免カルコトヲ得ス

第七條 賃借人ハ土地返還ノ場合ハ之ヲ原狀ニ復スヘキコト

第八條 天災地變等ノ不可抗力ニ基因シ作物ノ收穫不能又ハ著シキ減收ヲ生シタル場合ハ賃借

人兩者間ニテ××料ヲ協定スルコト

右契約ヲ證スル爲此證書ヲ作成スルコト如斯

大正 年 月 日

郡村

借 人 何

某 ㊦

郡村

連帶賃借人 何

某 ㊦

賃借人

何 某 殿

九六

—(小作料ノ品質、契約解除)—

小作 證 書

東八代郡一宮村

(土地及小作料ノ表示)

貴殿御所有前記土地ニ對シ小作契約成立セルニ付テハ左ノ條項ヲ確約ス

一、小作期限ハ初年度ヲ一ケ年ニ算定シ大正 年十二月三十一日迄トス

二、納租ハ糶、掛又等無之様精選シ新俵ヲ用ヒ重量正味十七メ匁以上五ツ所結ヒニ任立何月何日迄ニ納付可

致尤モ斗立ノ節ハ舊慣ニヨリ貴殿代人ノ立會ヲ受クルモノトス

三、納租一俵ノ容量ハ二十立枡六個入ニシテ一桶ハ二十立枡一個トス

但シ毛無大黒ト稱スル種類其他有毛種類ノ糶穀納付ノ節ハ糶一俵ニ付六升宛差糶可致候

四、小作金ノ納入ハ何月何日限リトス

五、小作地ハ耕地以外ニ使用セサルハ勿論貴殿承諾ナクシテ轉貸又ハ登記セサルモノトス

六、小作期間滿了セハ土地ヲ返還引渡シヲナスヲ本則トス尤モ期間内ニ蒔付ケタル麥其他季節ニヨル耕作物

アル場合ハ其收穫ヲ目的トスル限度ニ於テノミ小作地ニ立入ルモノトス

七、前項ノ場合ハ遅クモ次年度ノ五月末日迄ニ地上物件一切ヲ收去シ貴殿ニ御迷惑相掛ケサル様小作地ノ返

還ヲ了スルモノトス



八、返地ヲ怠リ貴殿ヨリ一週間ノ猶豫期間アル催告ヲ受クルモ尙其ノ履行ヲナササルトキハ右期間満了ト同時ニ小作地出入ノ權利ヲ失ヒ現存スル耕作物其他土地ニ定着スル一切ノ物件ハ當然貴殿ノ所有ニ歸スルコトヲ承諾ス

九、小作地ノ納入ヲ怠リ爲メニ貴殿ヨリ一週間ノ猶豫期間アル催告ヲ受ルモ其ノ義務ヲ履行セサルトキハ御通知ニヨリ直ニ小作契約ヲ解除セラルルモ異議ナキモノトス但シ本文ノ場合モ第八項ノ適用ヲ受クルモノトス

十、貴殿ノ都合ニヨリ前記小作地ヲ他へ賣却ノ場合ハ御通知ニヨリ速ニ返地スヘク苟モ小作權杯ト云爲シ拒否セサル事ヲ特約ス

十一、小作料ハ豊凶ヲ豫想シ其ノ數量ヲ前記ノ通り協定シタル者ニ付輕微ノ損害ニアリテハ引方ヲ要求セサルハ勿論假令損害多キ年柄ト雖モ無談作物ヲ引取りタルトキハ小作料ノ減額ヲ要求セサルモノトス

十二、保證人ハ此ノ契約ノ履行ニ付小作人ト連帶シテ一切ノ義務損害賠償等ノ責メニ任スルモノトス  
以上各項ノ趣旨ヲ諒シ本證書ニ捺印スルモノナリ

地主 何 某殿  
小作人 何 某

九七

（小作料ノ品質、小作地使用ニ關スル制限、契約解除、訴訟管轄裁判所）

土地 小作 證書

山梨縣西山梨郡何村大字何地内字何

第

合何筆

一合反別 何程

此小作料 何程 但糶一俵ハ重量正十七貫目入之事

右貴殿御所有之地所拙者小作申入前書ノ小作料ヲ以テ借請小作仕候處確實也然ル上ハ左記條件契約確守可仕候

- 一、小作借地期限ハ大正 年 月 日限リト定ム
- 二、小作料ハ十二月十日限り完納可致事
- 三、小作料糶ハ充分乾燥セシメ貴殿邸内ニ運込ミ掛股ハ篩ヒ除キ糶ヲ煽リ出シ毛糶ハ何種ニ關セス其芒毛ヲ打落シ可申ハ勿論貫目、樹入、俵拵へ等御檢分ヲ受ケ凡テ貴殿御指揮ニ從ヒ上納スヘキ事
- 四、糶ノ種類ハ貴殿御指揮ノ種類ヲ撰ミ仕附ケ可申事
- 五、小作地ヲ疲瘠セシメサル様耕作ニ勉勵スヘキハ勿論石灰、蠶蛹ノ如キ偏質肥料ハ之レヲ單用セサル事
- 六、小作料ノ儀ハ毎年増減ナキ契約ニ御座候得共萬一不可抗力ニ因リ上納額ニ不足ヲ生スルモノト御認メ相



成候上ハ鎌入前御檢分ヲ受ケ御指揮ニ從ヒ減納、延納等決シテ強請ケ間敷儀申出間敷候若シ貴殿御檢分ヲ受ケス自分勝手ニ鎌入致候節ハ如何様ノ御處分有之候共一切異議無之事

七、小作料未納中ハ小作地内ノ地上物件ハ權利ヲ他ニ移轉セス又耕作物植附蒔附後ト雖モ本文ヲ履行セス或ハ家資分散者トナリ其他上納方不納ノ恐レアリト御認メ相成候節ハ凡テ規定ノ催告ヲ要セス無斷土地御引上相成已ニ敷込タル費用ハ御見積ヲ以テ御附與被成下候共異議申出間敷候事

八、本文解約後小作地内ニ立稻、積稻等ヲナス又仕附タル作物ノ翌年ニ互ル物ハ次季ノ耕作ニ差支無之様速ニ處置可致、桑葉ハ秋季ノ收穫ヲ以テ限リトシ根株ヲ害セサル様注意可致事

九、本文履行ニ就テハ民法第六百八條第六百十九條ヲ適用セス又甲府區裁判所ヲ以テ管轄トナス事ヲ特約致候事

各條必ス確守履行可致

大正 年 月 日

山梨縣西山梨郡 村大字

小作人 何

某 印

山梨縣西山梨郡 村大字

保證人 何

某 印

西山梨郡玉諸村

何 某 殿

九八

（小作料ノ品質及納入ノ場所、小作地使用ニ關スル制限、契約解除、不作時ノ小作料減額）

小作證書

中巨摩郡南湖村大字東南湖地内 二千九百二十五 千四百二十八

一田反別三畝十九步

此小作粗一俵三桶

一畑反別二畝二十四步

一 小作金二圓七十錢

右貴殿御所有ノ地所拙者借受ケ小作致候ニ付左ノ契約ヲ確守履行可致候

一 地所借用期限ハ大正 年 月 日ヨリ來ル大正 年 月 日迄トス

一 前記粗金收納期限ハ大正 年 月 日限リノ事

一 小作地ハ如何ナル事情アルモ無斷他へ轉貸致間敷事

一 小作粗ハ品質精良ナルモノヲ選ミ收納ノ節ハ貴殿又ハ代理人ノ御檢査ヲ受ケ毛粗、糝、掛又等無之様精製



シ且充分ニ乾燥セシメ新俵ヲ用ヒ夷繩ヲ掛ケ貴殿御指定ノ場所へ運搬御渡可申事

一 小作地ニ蒔附候作物中翌年ニ至リ收穫スヘキ物(麥、豌豆、蠶豆ノ類)ハ成熟後速ニ刈取翌年ノ耕作物ニ差支無之様致スヘク候又右借地期限後ハ決シテ該地所ニ鋤入致サス且他人ノ鋤入ニ對シ異議不申ハ勿論翌年ニ至リ收穫スル作物刈取等ノ爲メ新作物ノ暴害致ササル事

一 小作地ニ植附アル桑葉ノ收穫ハ大正 年 月ノ收穫ヲ以テ限リトシ根株ヲ害セサル様充分注意可致事  
一 穀金等多少ニ不拘未納アル節ハ何時タリトモ地所引揚且該地所ニ作附置タル麥作其他一切ノ作物共拙者へ無斷ニテ刈取ラルルモ異議申間敷事

一 小作地へ作物蒔附後ト雖モ家資分散者トナリ其他不都合ノ所爲有之上納難致虞アリト御認メ相成候節ハ既ニ下シタル費用ハ貴殿ノ御見積ヲ以テ聊附與被下候ハハ一回ノ御通知ノ上直ニ地所御引揚相成候共聊カ異存無之事

一 小作中ハ任附方専心勉勵シ土地ヲ疲瘠セシメサル様注意シ適當ノ肥料ヲ施シ耕耘スル事

一 天災其他不可抗力ニ因リ上納額ニ不足ヲ生スヘキ場合ニ於テハ立毛ノ儘貴殿又ハ代理人ノ御檢分ヲ受ケ御指揮ニ隨ヒ收納可致候而シテ無斷刈取ノ節ハ決シテ減額ノ請求等致間敷事

一 前項不可抗力ニ因リ減額ヲ請求スル場合ト雖モ貴殿ノ恩惠ニ任セ他ノ小作人ト同盟又ハ黨與シ強請ケ間敷振舞決シテ致間敷事

一 保證人ハ此契約ノ履行ニ付本人ト連帶シテ一切ノ義務ヲ負擔可致事

右ノ條項ニ對シ萬一違背ノ行爲アリタルトキハ貴殿方ニテ御勝手ニ如何様ノ御處置被成下候共一言ノ異議申間敷候也

大正 年 月 日

中巨摩郡南湖村

小作人 何 某 印

郡村

保證人 何 某 印

郡村

保證人 何 某 印

南巨摩郡增穂村

地主 何 某 殿

長野縣



九九

〔小作期間、簡單ナルモノ〕

借地證

南安曇郡西穂高村大字柏原字當新山道南

一宅地 一反歩

此借地料正粗二俵

但シ一俵ハ正十四貫五百匁ノ事

借地期限ハ大正十五年ヨリ同二十四年迄十ケ年トス

借地料納期ハ毎年十二月二十日限り持參納付ノ事

右借地證差出申候處依而如件

大正 年 月 日

郡村 番地

借地人 何

某 印

郡村

地主 何

某 殿

100

小作契約書

一玉川村字頭無シ

三千七百八十三番

田反別 九畝歩

此小作料一ケ年玄米二石二斗五升

右土地今般前記小作料ヲ以テ借受ケ小作致シ候ニ付テハ左ニ特約ス

一、小作料ハ毎年十一月末日限り其年分ヲ貴殿宅ニ於テ仕拂可申事

一、一般ノ凶作ノ場合ハ不作ノ程度ヲ以テ小作料ヲ減免スル事

一、小作期間ハ大正十一年三月ヨリ大正十八年三月迄七ケ年トス

一、小作期間中ハ丁寧ニ耕作シ荒シ作り致ササル事

一、保證人ハ小作人ト連帶責任ヲ負ヒ契約履行ノ責ニ任ス

右條項履行可致爲後日小作契約書仍テ如件



大正十一年三月五日

諏訪郡玉川村 番地

小作人 何

某 印

同 郡同 村 番地

保證人 何

某 印

玉川村

地主 何 某 殿

一〇一

〔小作料ノ種類、小作料代金納ノ場合ノ取扱〕

地所小作證

永明村何番何字何

一、何反何畝何歩

此小作米 何程

但災害ニ罹リ違作之年ハ申立ニ據リ御調査ノ上相當ノ引被成下度事

右地所本年ヨリ大正 年迄 年間借受ケ小作可仕約定仕候然ル上ハ前記小作米ハ毎年 半額金

納九月三十日限リ屹度相納可申候其年萬一遲滯候節ハ引受人ニ於テ必ス辨納可仕候爲後日小作證

納十二月十二日

依而如件 但金納ハ東京深川標準相場ヲ以テス

永明村 番地

小作人 何

某 印

同 村 番地

引受人 何

某 印

村

何 某 殿

一〇二

〔小作地使用ニ關スル制限、小作地ニ係ル負擔〕

小作證書



何郡何町大字何番

字何

一 反別 何程

此小作入米 何程

爲俵

前記地所貴殿御所有之分今般拙者借請小作仕候處確實也就テハ約定左ニ仕候

一明治 年 月ヨリ明治 年 月迄滿 ケ年間ト定候事

一 小作年貢米四斗入ヲ一俵ト定メ(一升目方正味三百七十目定メ)拵念入毎年十二月二十五日限り無相違納可申候事

一 桑樹植附ノ場所ハ小作年貢毎年七月廿日限リ上納申候約定

一 買繼代金ヲ以テ相納候節ハ時ノ相場ヲ以テ計算之事

一 不作ニテ小作料減額ノ御相談不行届候節ハ作物三分ノ二差上地所速ニ返地之約定

一 前記麥田ト記入無之分ハ田麥一切蒔付不仕候萬一蒔付候節ハ拙者方へ無斷ニテ麥蒔付ノ儘他へ御貸渡相成候共其際種代及ヒ耕肥料等御請求不仕候ハ勿論決シテ異議苦情申出間敷候約定

一 桑樹植附ノ儀ハ貴殿御承諾ノ上ニ非サレハ自由ニ植附致間敷候事

一 年限中ト雖モ貴殿御入用又ハ他へ賣買讓與等ノ節ハ御斷次第速ニ返地仕リ決シテ異議申間敷候事

但シ前記ノ場合ニ於テハ假令御承諾ヲ受ケ自分方ニテ植付候桑樹ニテモ無代價ヲ以テ其儘差置キ耕肥料等一切御請求不申速ニ返地可致候事

一 前記地所年限中ト雖モ拙者ニ於テ擅ニ他へ又貸等決シテ不仕候萬一又貸致候節ハ小作契約御取消ノ上該地所ニ蒔植付有之作物ノ儘御引上被成候共苦情申間敷候事

一 五人手間以内ノ修繕工事ノ場所出來候節ハ總テ小作人ニ於テ負擔ノ事

一 年限中小作年貢滞候節ハ小作契約取消該地所ニ蒔植付有之作物及ヒ拙者方ニテ植付候桑樹共貴殿方ニテ御隨意ニ御刈取滞ノ内へ御收入被成下度候若シ本人債務完済シ能ハサル節ハ保證人ニ於テ本人ニ成換悉皆辨償可仕候也

右約條ヲ以テ借受候上ハ如何ナル事故出來候共保證人引受貴殿へ聊カ御損毛御迷惑相掛申間敷候爲後日保證人連署小作證書仍テ如件

年 月 日

郡 村町

小作人 何

某 印



郡	郡
村町	村町
保證人	保證人
何	何
某	某
Ⓜ	Ⓜ

小諸町  
地主 何 某殿

一〇三 (小作料ノ額、小作料滞納ノ處置、契約解除)

小作契約書

何郡何村大字何何番字何  
一畑 何反何畝歩

右之土地小作トシテ借地致候ニ付左ノ條項契約致シ必ス履行可致候

一 小作料ハ毎年區役場ノ決議之通り計算致シ十二月二十日限り納ムルモノトス (區役場ノ決議云々ハ大字ニ付シ又ハ有志ノ協議ニ付シ決定スルモノヲ云フ)

一 萬一 小作料延滞ノ時ハ相當ナル延利ヲ付シ期日ヨリ六ヶ月以内ニ納ムルモノトス  
一 尙六ヶ月以上ニ渡リ不納ノ場合ハ返地ノ請求ヲ受クルモ異議ナク原形ノ儘毛生トモニ返地ニ應スルモノトス

一 如何ナル都合アリト雖貴殿ノ承認ナクシテ土地ノ原形ヲ變更スルカ如キ工事等ハナササルコト  
一 貴殿ノ都合ニヨリ一ケ年以内ニ返地ノ豫告アル場合ハ速ニ土地原形ノ儘其請求ニ應スルモノトス  
一 保證人ハ凡テ借地人ト共ニ連帶責任ヲ負フ事ヲ契約ス

右小作契約書仍テ如件

年 月 日

借地人	何	某
保證人	何	某
		Ⓜ

何 某殿

一〇四 (契約解除、小作料滞納ノ處置)

土地賃貸借契約書



- 一 別紙ニ登記スル土地何反何畝歩賃借候ニ付左ノ締約ヲ締結ス
- 一 賃借期間ハ大正 年 月 日ヨリ何年何月何日迄タル事
- 二 賃借米ハ地方米何俵何斗何升

但一俵四斗入此目方十六貫七百目以上ノモノト定メ年ノ豊凶ニ關セス毎年十一月二十日ヲ期シ賃貸人ノ住所へ持參シ支拂フ事

- 三 賃借米ハ賃貸人ノ都合ニヨリ代金ニ換算シ請求アル時ハ異議ナク之レニ應スルコト
- 但換算方法ハ毎年十一月上等米ノ相場ヲ以テ賃貸人ニ於テ之ヲ定ム可キ事ヲ契約ス

四 賃貸人ハ賃貸權ヲ第三者へ讓與シ賃借地ノ全部又ハ一部ヲ他へ轉貸セサルコト

五 賃借人ハ賃貸人ノ許諾ヲ得スシテ土地ノ原形ヲ變更スヘカラサルコト

六 賃借人ニ於テ賃借米ヲ第二項ノ期限ニ納付セス又ハ本契約ニ違反セル行爲アリタルカタメ返地ヲ要求セラレタル時ハ民法第六百十八條ノ規定ニ準據セス直ニ返地スヘキ事

七 賃借期限ハ第一條ニ於テ定ムト雖モ賃貸人ヨリ返地ヲ要求セラレタル時ハ異議ナク之ヲ承諾シ民法第六百十八條ノ規定ニ準據セス其通告ノ日ヨリ三十日以内ニ必ス返地スヘキ事ヲ特約ス

八 前各項ニヨリ本契約ヲ解除スルトキハ直ニ土地ノ占有ヲ賃貸人ニ移スハ勿論賃借地上ニ現存ス

スル植産物等總テ賃貸人ノ處分ニ屬スヘキコト

此場合ニ在テ賃貸人ニ於テ要スル費用ハ之ヲ賠償スヘキ植産物ニ關スル損害ハ要求セサルヘキコト

九 保證人ハ本人ニ連帶シ且保證人間ノ連帶ヲ以テ總テノ義務ヲ履行スヘキコト

十 賃借人第二項ニ規定スル期限ニ賃借料ヲ納付セサルトキハ催告ヲ要セスシテ直ニ強制執行ヲ受クルモ異議ナキコト

右契約各項相違ナキコトヲ確認スルタメ茲ニ記名捺印候也

年 月 日

下伊那郡伊賀村 番地

賃借人 何 某 印

同郡同村 番地

保證人 何 某 印

地主

何 某 殿

(別紙省略)



小作證書

(小作料滞納ノ處置、通知、契約更新)

南安曇郡倭村何番

字

一、田實測坪數

何坪

田數 枚

此小作料粗

何程

外畦畔

何程

右貴殿所有ノ土地保證人立會正ニ小作致候ニ付左ノ條件約定致候

- 一、小作期限ハ大正 年一月ヨリ同 年十二月迄滿 ケ年ト相定ム
- 一、小作料ハ年ノ豊凶ニ拘ラス毎年十一月末日限り貴殿方へ持參納入可致候事
- 一、納入粗ハ充分精撰乾燥シタル物トス若不充分ナルトキハ貴殿ノ指揮ノ如ク改撰ス可キ事
- 一、包裝ハ充分使用ニ堪ユル俵及繩ヲ以テ之ヲ爲シ其費用ハ小作人ノ負擔タル可キ事
- 一、若納入期限ヲ經過シ又ハ不足シタル時ハ粗十貫匁ニ付一日金一錢宛ノ損害ヲ支拂事
- 一、本契約ニ背クカ又ハ貴殿ノ都合ニテ土地御入用ノ節ハ期限中ト雖モ現狀ノ儘返地可致候事

一、本證書中ノ通知ハ書留郵便ヲ以テ爲セハ足ルモノトシ宛名人不在其他ノ事故ニ因リ閱覽セサルモ尙其通知ノ效力ヲ可認スルコトヲ特約ス且返地ニ關シテハ一切ノ損害等要求セサル事

一、期限後契約ノ改更ヲ爲サス引續キ小作ヲ爲シタル場合ハ此契約書ヲ以テ事ヲ辨スヘキ事

一、本契約ノ條件ハ總テ保證人ハ連帶責任ヲ以テ義務ヲ果シ貴殿へ聊カ迷惑ヲ掛サル事

前記各項ヲ遵守シ後日聊カモ違背セサル爲保證人連署小作證差入候處如件

大正 年 月 日

南安曇郡 村 番地

小作人 何

某 ①

郡 村 番地

證人 何

某 ②

何 某 殿

追約

- 一、小作料ハ毎年 自十月五日 至同 十五日 之間ニ於テ平均ヲ得ヘキ場所ヲ撰ミ一坪乃至四坪立毛ノ坪苅ヲ爲シ双方(地主)封印ノ上地主方ニ保存シ三日間乾燥後之ヲ秤リ其粗ノ量目ヲ總坪ニ乗シタル半額ヲ納入可致候
- 但一坪當リ粗四百匁ヲ限度トシ其以上ハ小作人ノ收得トス



一、地主へ納入スル糶ハ坪菊ノ糶ヲ標準トシ之ニ劣ラサル品格ノモノタルヘキ事  
一、桑畑及二毛作(麥油菜紫雲英種ノ採收)ノ場合ハ類地ノ收穫ニ準シ小作糶ヲ定ムル事

一〇六

(小作地ニ係ル負擔)

小作證書

何郡何村大字何何地番

一田 何反何畝歩

此小作料糶何石何斗升ノ定

何郡何村大字何々地番

一畑 何反何畝歩

此小作料何石何斗何升ノ定

右ノ契約ニ依リ貴殿御所持ノ土地ヲ拙者借用致シ耕作可致御承諾相成候ニ付テハ左ノ件々相守可申候

一 小作期間ハ何年何月ヨリ向何年何月マテ何年間ト相定ム

但シ貴殿ニ於テ御入用ヲ生シ返地御申越ノ場合ハ六ヶ月以内ニ御返シ可申候

本項ノ小作料ハ收穫物ノ實況ニ依リ協議決定ノ事

二 小作料ハ毎年十二月二十日限り運賃ハ拙者ノ負擔ニテ無遲滯貴殿宅ニ納附可致候

三 小作地ニ係ル諸稅公課以外ノ諸費ハ一切拙者負擔可致候

四 拙者ノ勞力ヲ以テ爲シ得ラルヘキ土地惡變防止ノ爲修繕改良ハ拙者負擔可致候

五 小作料滞納ノ御懸念有之候節ハ納期ニ關セス收穫時ニ於テ御請求相成候共不苦候

六 契約期間中本契約カ解除セラル、カ又ハ満期ニテ返地致スヘキ場合ニ至リ土地ノ狀況人意の異狀ヲ生シ居

リ候節ハ總テ現形ニ復シテ御引キ渡可申候

右ノ通り履行可仕候萬一契約ニ違背致シ候節ハ保證人ニ於テ處辨致シ可申候爲後日保證人連署ノ  
上小作證書仍テ如件

年 月 日

郡 村大字 番地

小作人 何

郡 村大字 番地

某 印



郡 村大字 番地  
何 某殿

保證人 何

某 ㊦

107

(小作料ノ品質、小作料納入ノ場所、小作地ニ係ル負擔)

借地小作證書

何郡何村字何何番

一 小作土地

何程

一 小作租

何程

右ノ土地本年ヨリ 年間前記小作料ニテ貴殿ヨリ借受ケ小作候ニ付保證人立會ヒ左ノ各項ヲ契約ス

一 小作租一俵ハ正租五斗四升入ニテ目方正實十四貫五百匁以上トス

但シ量衡器併用檢定ノ上或ル一方ニ不足ノトキハ定量ニ滿ル迄足シ加フヘシ

一 小作租ハ善良ノ種類ヲ改メ(金比羅、白川等ノ如キ其他米質不良ノ租及總テ有芒種類ヲ除ク)乾燥選別ヲ嚴

ニシ檢査濟ノ上指圖ニ從テ調達スヘシ

但租ノアヲリ別ハ必ス二回トス

一 小作租納期ハ毎年 月二十日限リト定メ指定ノ場所迄運搬シ遲滞ナク相納ムヘシ

但シ金納ノ承諾ヲ得タル場合ニハ貴殿ノ算定價格ニ依テ速カニ納入スヘシ

一 本土土地ニ關スル堰浚、道普請竝ニ用水ニ係ル公共ノ夫役及ヒ其耕地協議費以外ノ費用等ハ一切小作人ニ於テ負擔辨務スヘシ

一 本土土地ハ地主ノ承諾無クシテ地形變更、小作復貸、立毛見越賣却又ハ立毛ヲ他へ擔保引當等ニ爲スコトヲ得ス

一 小作中湧水其他如何ナル場合ニ於テ不作減收スルコトアルモ小作租ノ減納又ハ延納等決シテ申入間敷納期必ス皆納スヘシ

一 前各項ニ違背シ又ハ地主ニ於テ本土土地ノ必要ヲ生シ返地ノ請求ヲ受ケタルトキハ期間中何時タリトモ異議無ク速カニ返地スヘシ

一 本契約ノ保證人ハ本人ト連帶不可分ノ責任ニシテ本人違約ニ依リ損害アルトキハ總テ代務辨濟スヘシ

右承諾ノ上保證人連署借地小作證書差出候處如件

明治 年 月 日



郡村 番地

本人 何

某 ㊦

郡村 番地

保證人 何

某 ㊦

郡村 番地

保證人 何

某 ㊦

郡村

何 某殿

一〇八

(小作料滞納ノ場合ノ處置、契約解除、契約更新)

耕地賃貸借契約證

一、土地ノ表示

別記目錄之通り

二、賃貸借期間

大正 年 月ヨリ大正 年 月ニ至ル 年間

三、賃借料

但シ扱一俵ハ五斗 升入一升目方二百七十五匁以上

右現金ニ換算支拂フ場合若シクハ遅滞ノ場合ニハ支拂期日ニ於ケル當地方ノ公定相場トス

四、賃借料支拂時期

毎年 月 日

賃借料ノ延滞利子ハ年 割 分トス

五、賃借人ハ賃貸人ノ同意ヲ得ルニアラサレハ其ノ土地ヲ他ニ轉貸シ又ハ土地ノ形狀ヲ變更スル

コトヲ得ス

六、契約ノ解除

當事者間ニ於ケル合意ニ因ルノ外賃借人ニ於テ左ノ行爲アリタル場合ニハ賃貸人ハ一片ノ通告ニヨリ何

時ニテモ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得

イ 月以上賃借料ノ支拂ヲ怠リタルトキ

ハ 第五號ノ契約ニ違背シタルトサ

ハ 賃借人ノ怠慢ニ因リ土地ヲ荒蕪セシメタルトキ



- 七、前號ニヨリ契約ヲ解除シタル場合ニ於テハ賃借人ノ行爲ニ因リ賃貸人ノ得タル利益ハ相當補償スルモノトス
- 八、賃貸人ニ於テ本契約ノ土地ヲ他ニ賣却若シクハ讓渡シ又ハ之レニ質權ヲ設定スルニハ豫メ之レヲ賃借人ニ通告シ尙最モ賃借人ノ利益ヲ害セサル時期ニ於テ之レヲ爲スヘキモノトス
- 九、本契約期間滿了ノ場合賃借人ニ於テ之レカ更新ヲ申込ミタルトキハ賃貸人ハ正當ノ理由ナクシテ之レヲ拒ムコトヲ得ス
- 十、賃借料ノ支拂ヒヲ怠リタル場合ニハ保證人ニ對シテモ直チニ其ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得

大正 年 月 日

郡村 賃貸人 何 某 ㊦

郡村 賃借人 何 某 ㊦

郡村

保證人 何

某 ㊦

目 録

- 一、 上水内郡鳥居村大字何字何々番  
反別 何程
- 一、 上水内郡鳥居村大字何字何々番  
反別 何程
- 一、 何郡何村何字何々番  
反別 何程

岐 阜 縣

一〇九

(小作料納入ノ場所、契除更新)



土地賃貸借證書

岐阜縣本巢郡穗積村大字別府ノ内

字何何番 字何何番

一畑何段畝何歩 一畑何反何畝何歩

此一ケ年掬米 何程 此一ケ年掬米 何程

右貴殿御所有地賃貸致候ニ付テハ左ノ契約ヲ爲ス

一、賃借期間大正 年 月 日ヨリ大正 年 月 日迄但滿期解約セントスルトキハ其ノ年三

月末日迄ニ豫告スルコト

一、縣生産検査四等玄米四斗俵トシテ穗積村別府地内農業倉庫若クハ別府地内貴殿御定ノ場所ヘ納付スル事

一、掬米納付期限ハ翌年一月三十一日迄ノ内指定ノ日時

一、契約ノ掬米納付シ難キ凶作ノ場合アリタル時ハ刈取前檢見ヲ求メ減額決定ヲ請フコト、檢見前刈取ニ着

手シタルトキハ約定分皆納ノ事

一、賃借地現狀ヲ變更セサル事

一、前記表示ノ反別ノ増減ニ付テハ双方異議ヲ主張セサルコト但契約後ノ變動ハ此限ニアラス

一、本契約書ニ定メタル賃借期限後双方黙許ヲ以テ受作ヲ繼續スルトキハ賃借人保證人ニ於テ負フヘキ義務

ハ總テ此契約書ノ如ク承諾シタルモノト見做ス事

一、保證人ハ本人及保證人間ニ於テモ連帶責任ノ事

大正 年 月 日

岐阜縣本巢郡穗積村大字別府何番

賃借人 何 某 ㊟

同縣同郡同村大字同

右保證人 何 某 ㊟

同縣同郡同村大字同

右保證人 何 某 ㊟

何 某殿

110

(契約更新)

借地受作證書



岐阜縣加茂郡何々

土地面積表示

掬米 何程 但一石ニ付込米 升

右之土地本年 月ヨリ大正 年 迄五ヶ年間借地受作候事確實也然ル上ハ大切ニ耕作可致

ハ勿論左ノ件々聊違背致間敷候

一、貴殿ノ御承諾ナク轉貸又ハ地目變換等ハ一切致間敷事

一、他ヨリ損害ヲ受クヘキ儀有之節ハ速ニ御報知可申事

一、受作年限中タリトモ貴殿御入用カ或ハ拙者ハ於テ不都合之廉有之節ハ御沙汰次第何時ニテモ返地可致事

但返地ノ際現ニ其土地ニアル作物ハ貴殿御見込ノ代價ヲ以テ御買取可被下候其場合ニ至リ聊カ彼是申間

敷候事

一、掬米ハ受作中毎年十二月二十日限り皆納可致約定最該地ハ本年ヨリハ凶作ニ不拘前記ノ掬米ハ遲滞ナク

速ニ皆納可致事特約仕候也

若該地ニ對シ可盡義務ノ怠リ等有之候節ハ其作物ニ不關保證人ヨリ速ニ辨納可致候事

一、若シ私都合有テ御返地可致候節ハ一月三十日迄ニ申出候事右期日經過後ハ其年中ハ決シテ御返地等申出

間敷事 一、米拵並ニ俵繩等ハ入念拵可申ハ勿論若粗惡ノ拵方ニ候ハ、御指揮通り拵直シ可申候事



一、貴殿御承諾ノ上若シ代金ヲ以テ相納メ候節ハ御差圖ノ相場ヲ以テ期限ノ通皆納可致事  
一、前件々ノ外法律又ハ慣習ニ依リ受作人ニ於テ相勤ムヘキ儀ハ聊カ異議ナク相勤メ可申事  
一、受作年限相過キ候後タリトモ尙受作繼續致居候節ハ此契約通聊違背致間敷事  
右之通堅ク相守リ可申若右ノ契約ニ相背キ候廉有之ニ於テハ本人ノ在不在ニ拘ラス一切ノ義務保  
證人ハ引受速ニ辨償可仕候後日ノ爲メ保證人連署シ借地受作證書差上置候也

大正 年 月 日

岐阜縣加茂郡

借地受作人 何

某 印

岐阜縣加茂郡

右保證人 何

某 印

岐阜縣加茂郡太田町

何 某 殿

一一一

(小作料ノ品質、小作料帶納ノ處置、不作時ノ小作料減額、小作料ノ擔保、契約解除、契約繼續、保證人ノ變更)



小作證券

美濃國何郡何村大字何ノ内

字何

何番

一ヶ年ニ付

掬米

字何

何番

一ヶ年ニ付

掬米

右者貴殿御所有ノ地所今般左ノ約定ヲ以テ大正 年 月ヨリ同 年 月マテ拙者小作致候處實正也就テハ此契約ノ通り聊違背ナク其義務ヲ履行可致候也

第一、掬米ハ前書明記ノ通り相定メ岐阜縣令産米調製準則ニ從ヒ改良ヲナシ縣郡又ハ町村ノ検査ヲ受ケ善良ナルモノヲ以テ納米ス

但縣令變更等ノコトアル時ハ其縣令ニ從ヒ違背セサルコト

第二、掬米ハ前條ニ從ヒ毎年 月 日限リ二斗以上ノ米ハ俵造トシ貴殿御差圖ノ場所へ持參一時米納皆

濟可致候萬一現品ヲ以テ皆納能ハサルトキハ貴殿ニ於テ相場御取極メ被成下右期限相違ナク金額ヲ以テ皆濟可致候事

但萬一納期懈怠致候節ハ假令御催促無之トモ代金額ニ年一割 歩ノ計算月割ヲ以テ利子相加ヘ皆濟可致候事

第三、田方ニ限リ非常天災凶年ニ當リ收穫ヲ減スルト見認ムル時ハ必ス之ヲ芻取ラサル前ニ貴殿ノ御檢見ヲ受ケ現ニ其收穫力掬米ニ相當セサルトキハ其不足ニ對スル幾分ヲ御減シ被成下御取米御取極メヲ以テ違背ナク前條期日ノ通り皆濟可仕候事ハ勿論小作團體等ヲ組織シテ脅迫ケ間敷キ事ヲ成サス小作各自申出御承諾ヲ受クルコト

第四、掬米ヲ皆濟セサル間ハ土地收穫物ノ全部ハ其擔保トシテ其儘保存シ貴殿ノ許諾ヲ得ルニ非レハ他ニ讓與及質物等ニハ一切致間敷候事

第五、該地ハ善良ノ形狀ニテ小作致候就テハ其土地ノ用法ニ隨ヒ其形狀ヲ變スル事ナク善良ニ之ヲ使用シテ其利益ヲ得可申又假令收穫上必要ト雖モ貴殿ノ許諾ヲ得ルニ非サレハ諸般ノ工事及竹木類ヲ栽植致間敷候事

第六、小作權ハ貴殿ノ御承諾ヲ得ルニ非サレハ他へ轉貸等致間敷候事

第七、受作期限中該地ヲ看守シ及保存スルニ付拙者ハ總テ其義務ヲ負擔可致ニ付其土地ニ屬スル權利ヲ若シ



使用セスシテ消滅セシメタルトキハ其責ニ任スルハ勿論其他ニ付他人カ侵奪ヲ行ヒ又ハ貴殿ノ所有權ヲ害スヘキ行爲ヲ行フトキハ其都度必ス貴殿ヘ報告可致若シ之等ヲ怠リタルトキハ拙者ヲ以テ總テ之カ爲メ生シタル損害ヲ償フノ責ニ任シ可被下候事

第八、該地ハ貴殿御都合ニ依リ御入用ノ節又ハ他ニ御讓渡シ等ノ節ハ御沙汰次第違背ナク速ニ貴殿ヘ返地致候事

但本文返地ノ場合出來作付中ニ相當リ候節ハ該地作物立毛ノ儘返地可致候依テ貴殿ニ於テ御隨意ニ可被成候且種肥作料御手當ノ義ハ貴殿ノ御意見ニ任セ決シテ違背申間敷候事

第九、本契約書ニ定メタル小作地期限後双方黙許ヲ以テ猶小作ヲ繼續スルトキハ小作人及保證人ニ於テ負フヘキ義務及擔保ハ總テ此契約書ノ如ク承諾シタルモノト御見做シ可有之候事

第十、保證人無資力顯然タルカ又ハ破産宣告ヲ受ケタルトキハ五日以内ニ相當保證人相立可申候

第十一、此契約書ヲ以テ特ニ義務ヲ明記シタルト雖モ法律上及習慣上當然生スヘキ義務ノ效果ハ素ヨリ履行可致候事

右御契約ノ條々聊カ違背ナク履行可致萬一本人違背致シ候節ハ保證人ニ於テ掟米辨償ハ勿論其他總テノ義務ヲ負擔シ毛頭貴殿ヘ御厄介御損耗等相懸ケ間敷候爲後日保證人連印證券差入置候處如件

大正 年 月 日

郡 村大字 番戶

小作本人 何 某 ㊦

郡 村大字 番戶

右保證人 何 某 ㊦

何 某 殿

一一二

(小作料滞納ノ處置、小作料ノ擔保、契約解除)

土地賃貸借契約書

本巢郡合渡村大字何

字何 第何 番 田反 畝 步 現狀有形ノ儘

一、一ヶ年掟米 何程

字何 何 宅地 坪 現狀有形ノ儘

一、一ヶ年掟米 何程

字何 第何 畑 畝 步 現狀有形ノ儘

一、一ヶ年掟米 何程

字何 第何 畑 畝 步 現狀有形ノ儘

一、一ヶ年掟米 何程

右地所本年ヨリ大正十六年迄テ五箇年間借地候事實正也然ル上ハ左ノ通り聊カ違背致間敷候



- 一、 掬米ハ受作年限中毎年一月二十日限り米拵へ俵裝共叮嚀ニシテ貴家納米置場又ハ御支配人方へ持參シ皆納可致若シ期限後ハ倉相場ニ換算シ元金一圓ニ付一箇月一錢ツ、ノ月割利ヲ添へ相納メ可申候
- 二、 掬米皆納迄ハ收穫物悉皆其擔保トシテ其儘保存可致候
- 三、 御承諾ヲ經スシテ期限迄ニ不納致候節ハ拙者借受地ノ悉皆御引上ケ相成候トモ聊カ異議申間敷候
- 四、 掬米納期前ニ於テ差押へ又ハ假處分相受候節ハ其日ヲ以テ納期日ト可致候間御請求相成候トモ聊カ故障無之候
- 五、 貴殿ノ御承諾ナク借地ヲ他ニ轉貸シ又ハ地目ヲ變換スル等致間敷善良ニ使用シテ土地ノ價値ヲ失墜セシメ又ハ土地ニ屬スル權利ヲ使用セスシテ消滅セシメサルヘク或ハ他ヨリ損害ヲ受クヘキ儀有之候節ハ直ニ之ヲ報告スヘク總テ其義務ヲ怠リタル時其責ニ任シ可申候
- 六、 萬一受作年限超過キ候後タリトモ尙ホ受作致候間ハ此ノ契約通り總テ繼續仕リ聊カ違背致間敷候
- 七、 借地又ハ返地ノ際現ニ其土地ニ植付有之候作物ハ相當ノ代價ヲ以テ買受又ハ賣渡可申候
- 八、 受作年限中タリトモ貴殿御入用ノ節ハ何時ニテモ本契約ヲ解除シ返地可致候
- 九、 受作地ヲ返還セントスル時ハ可成早ク貴方へ申出テ必ス左ノ期限ニ依リ地上物ニ關スル件ヲ解決シ直ニ土地ヲ引渡可申候ニヨリ其ノ以後ハ御勝手ニ進退ナサルヘク候
- イ、 宅地ハ前年十二月三十日限
- ロ、 田ハ其ノ年一月二十日限但大麥小麥菜種ノ三種ヲ作付シタルモノニ限り特ニ其ノ年六月十日迄土地

ノ明ケ渡シヲ御延期被成下度候

ハ、 畑ハ前年十二月三十日限但前年十一月ヨリ跡作ノ麥其他ノ蒔付ケラル、コトアルモ異議申間敷候尙

ホ其ノ爲メニ掬米ノ減額ヲ請求致ス間敷候

一〇、 保證人ハ借地人ト連帶ノ責ニ任シ可申候

右借地證書依テ如件

大正 年 月 日

本巢郡合渡村大字河渡

借地本人 何 某 印

同 郡同 村同 字

連帶保證人 何 某 印

同 郡同 村同 字

連帶保證人 何 某 印

何郡何村大字字

地主 何 某 殿



土地賃貸借證書

一一三

(小作料滞納ノ處置、檢見、契約解除、小作料擔保、契約更新)

美濃國本巢郡一色村大字何ノ内

字何

字何

何番

何番

一ケ年ニ付

一ケ年ニ付

一、掬米

何程

一、掬米

何程

字何

字何

何番

何番

一ケ年ニ付

一ケ年ニ付

一、掬米

何程

一、掬米

何程

右者貴殿御所有ノ地所今般左ノ條約ヲ以テ大正 年 月ヨリ同 年 月マテ拙者賃借致候處實正也依テ左記契約ノ通り聊カ違背ナク其義務ヲ履行可致候也

第一、掬米前書明記ノ通り相定メ充分乾燥セル最上等ノ米質タルハ勿論惡米碎米粗其他品位ヲ損スル物品ヲ除去シ御検査濟ノ上縣令ノ指定ニ從ヒ俵裝ヲ爲シ其年十一月一日ヨリ十二月二十五日迄ノ間ニ於テ地主ノ指定セル日時場所へ屹度普通格米納皆濟可致候萬一米納致シ兼テ候節ハ貴殿ニ於テ相場御取極メノ上右期限迄ニ相違ナク金員ヲ以テ皆濟可致候事

但シ萬一納期ヲ怠ルトキハ貴殿御都合ニ依リ代金ニ換算ノ上御請求相成リ候共異議無之此場合ハ期限後一割五分ノ利子ヲ日割計算ニテ相添ヘ支拂ヒ可申候

第二、貴殿ノ御都合ニ依リ一色共同納所へ納付御申付ノ際ハ其規約ニ隨ヒ米納仕リ聊カ違背申間敷候事

第三、非常天災若クハ凶年ニ當リ收穫ヲ減シ掬米額ニ達セサルト見認ムルトキハ必ス之ヲ取取ラサル前御検査ヲ受ケ現ニ其收穫力掬米全部ニ充タサルトキハ貴殿ノ御檢見ヲ以テ其幾分ヲ御減シ被下度候若シ又御檢見御定ニ承服致兼候節ハ該地現在ノ作物全部ヲ掬米トシ作付ノ儘貴殿へ御引渡可申候尙苗代田及都合上米作外ニ使用セシ場合ハ決シテ掬米ノ減額ハ請求不仕候事

第四、掬米ヲ皆濟セサル間ハ土地收穫物ノ全部ハ其擔保トシテ保存シ貴殿ノ許諾ヲ得ルニ非サレハ賣買讓與及質物等ニハ一切致ス間敷候事

第五、賃借地ハ其土地ノ用法ニ隨ヒ其形狀ヲ變スル事ナク善良ノ管理者ノ如ク之ヲ使用シ可申又假令收穫上必要ト雖モ貴殿ノ許諾ヲ得ルニ非サレハ諸般ノ工事及竹木類ヲ栽植致ス間敷候尙後年ニ至リ地質ヲ損耗スルカ如キ即チ石灰肥料ノ如キモノハ決シテ施用致ス間敷候事



第六、質借權ハ貴殿ノ御承諾ヲ得ルニアラサレハ他へ讓與及轉貸等致間敷候事

第七、賃借期限中借地ヲ看守シ及保守スルニ付キ拙者ハ總テ其義務ヲ負擔可致尙其土地ニ屬スル權利ヲ若シ使用セスシテ消滅セシメタルトキハ其責ニ任スルハ勿論其他ニ付他人カ侵奪ヲ行ヒ又ハ所有權ヲ害スヘキ行爲ヲ行フトキハ其都度必ス貴殿へ報告可致若シ之等ヲ怠リタル爲メ生シタル損害ハ拙者凡テ之レカ辨償ノ責ニ任シ可申候事

第八、該地ハ貴殿御都合ニヨリ御入用ノ節又ハ他へ御讓渡等ノ節又ハ民法第六百十七條ノ猶豫期間ニ不拘三ヶ月以前ニ御催告被下候ハハ其期間滿了ノ日時ニ違背ナク速カニ貴殿へ返地可致候萬一作付中ナルモ其儘御返地可申候其節ハ貴殿ニ於テ任意御手當御積算被下ハ幸甚聊カ異議申間敷候事

但掟米ヲ期限迄ニ納付セス十日以上經過セシメタルトキハ貴殿ノ御都合ニヨリ民法第五百四十一條ノ催告ヲ要セス直ニ地所明渡御請求ニ應シ可申候

第九、本契約書ニ定メタル賃借期限後双方默許ヲ以テ猶受作ヲ繼續スルトキハ賃借人又保證人ニ於テ負フヘキ義務及擔保ハ總テ此契約書ノ如ク承諾シタルモノト御見做シ可有之候事

第十、此契約書ヲ以テ特ニ義務ヲ明記シタリト雖モ法律上及習慣上當然生スヘキ義務ノ效果ハ素ヨリ履行可致候事

右御契約ノ條々聊カ違背ナク履行可致候萬一本人履行致ササルトキハ保證人ハ本人ト連帶ノ責任ヲ以テ掟米辨償ハ勿論其他總テノ義務ヲ負擔シ毛頭貴殿へ御厄介御損毛等相懸ケ申間敷候爲後日

保證人連印證券差入置候處如件

大正 年 月 日

岐阜縣本巢郡一色村大字 番地

賃借人 何 某 ④

同 縣同 郡 同村大字 番地

右保證人 何 某 ④

何 某 殿

靜 岡 縣

一一四

小作 證書



安倍郡大里村中田

字舟原三百四十一番地ノ二

一、田 九畝十四步

安倍郡大里村中田

字一丁田百七十二番地ノ二

一、田 七畝二十七步

貴殿御所有ニ係ル前記ノ土地今般小作致シ候ニ付テハ左ノ通契約致候

一、小作期間ハ大正十一年十二月ヨリ同十四年十二月迄三ヶ年間

一、小作料ハ一ヶ年小作料米六俵三斗ト定ム

一、小作料支拂時期ハ毎年十二月二十日限り完納可仕候

一、小作期間内不可抗力ニヨリ收益ニ付キ損害ヲ蒙ル事アルモ小作料ノ免除又ハ減額請求不仕候借地ノ土砂

拔取リ地目變換等無斷ニテ致スマシク境杭ハ御鄭重ニ保存可仕候

一、作期間ハ貴殿ノ承諾ナクシテ其權利ヲ他人ニ讓渡シ又ハ轉貸不仕候

一、小作料ノ支拂ヲ怠リタル時又ハ本契約ニ違背シタル時ハ直ニ御引揚ケ相成異議無之候

一、前各項ノ外法律又ハ慣習ニ從ヒ小作人ノ義務ニ屬スルモノハ渾テ遵守履行可致候

一、保證人ハ本契約ニ對シ連帶ノ義務履行ノ責ニ任シ可申候

右小作契約證書如件

大正十一年十二月

郡村 番地

小作人 何

某 印

郡村 番地

保證人 何

某 印

静岡市下魚町 番地

河 某殿

一一五

一(小作料俵裝)一

小作證

駿河國富士郡

反別

何程



一米 何程 但一ヶ年納額

内譯

藏米 何程

但四斗二升入二重俵

散米 何程

但四斗入一重俵

右者貴殿御所有之地所今般證人相立當明治二年ヨリ同六年迄五ヶ年間小作仕左之通約定ス

一藏米ハ最モ精撰シ榊目改メヲ受ケ繩俵等入念調製シ毎年十二月御指定ノ日限皆納可致事

一散米ハ精撰シ榊目改メヲ受ケ毎年御指定ノ日限皆納可致事

一農業怠漫ニ流レ不丹精ト御認メ有之候ハ、假令約定年内ト雖モ地所御引上相成候共不苦爲メニ生スル損失

ハ聊不申受候事

一自己ノ名義ヲ以テ他人ヘ小作ヲ託スル如キ事萬一有之節ハ即時地所御引上可被成候

一期限ニ至リ納米淹滞スル時ハ如何ナル事故アルニ拘ワラス速ニ證人ノ拙者共ヨリ悉皆辨償シ毫モ御損毛相

掛ケ申間敷候事

右之件々後日違背致ス間敷候依之小作證差入候處如件

大正二年二月七日

富士郡 村

小作人 何 某 ㊟

引受證人 何 某 ㊟

同 何 某 ㊟

何 某 殿

備考 本證書ニ於テ小作米ヲ藏米及散米ノ二種ニ分チ前者ヲ二重俵裝トシ後者ヲ一重俵裝トシタル點ヨリ

見テ明治年代以前ノ證書ノ形式ヲ踏襲セルモノト推察セラル

愛知縣

一一六

(小作米ノ品質、獎勵米、不作時ノ小作料減額、契約更新、米穀検査費用負擔、契約解除)

土地賃貸借契約書

土地賃貸人土地所有者小嶋某ヲ甲土地賃借人土地利用者ヲ乙トシ甲乙間ニ土地賃貸借契約ヲ締結



スルコト左ノ如シ

第一條 乙ハ土地賃借ノ對價トシテ別紙目錄記載ノ賃借料ヲ左記ノ標準ニヨリ甲ニ支拂フモノトス

一、田ノ賃借ハ毎翌年一月三十一日限り愛知縣移出米検査済米ヲ以テ納付ス米ハ四等米ヲ以テ標準トシ三等米ヲ以テ納付スル時ハ甲ハ乙ニ對シテ同米一俵ニ付玄米一升ヲ二等米ニ對シテハ同二升ヲ一等米ニ對シテハ三升ノ各獎勵米ヲ交付ス

乙ハ甲ノ同意ヲ得テ愛知縣産米検査合格米ヲ以テ移出米検査済米ニ代ヘ納付スルコトヲ得但シ此ノ場合納付米ハ野並産合格「中」米ヲ以テ標準トシ同「上」米ヲ納付スル時ハ甲ハ乙ニ對シテ同一俵ニ對シテ玄米一升ノ獎勵米ヲ交付ス

二、畑宅地山林竹林等ノ賃借料ハ毎毎年九月十五日限り規定ノ賃借米ヲ時價ノ標準トシテ協定シタル價格ヲ以テ代金納スルモノトス

乙ハ其都合ニヨリ本條ノ第一號ニ準シテ玄米ヲ以テ納付スルコトヲ得但此場合乙ハ本號ノ納付期日其旨甲ニ通告スルヲ要ス

第二條 旱水損風害其他不可抗力ニ因ル不作ノ爲乙カ規定ノ賃借料ノ支拂不可能ナリト認メタル時ハ乙ノ收穫着手前其旨甲ニ通告シ小島家土地委員會ノ判定ニ依リ當該年度限り別段ノ賃借料ヲ協定スルモノトス但本條ニヨル協定ヲナサントスル時ハ其通告期限ヲ稻作ニ於テハ十一月二十日麥作ニ在リテハ六月十日其他ノ畑作ニ於テハ各其相當收穫期前トス

第三條 前條小島土地委員會ノ裁定ニ對シテ甲乙双方ノ一方カ不服ナル時ハ「刈分」スヘク其節ハ甲乙兩者ノ收得歩合ヲ各百分ノ五拾宛トス

甲乙ハ協定ノ上夏冬兩作ヲナス畑ノ賃借料ハ砂畑ニ在リテハ全賃借料中夏作ハ百分ノ六拾、冬作ハ百分ノ四拾、山畑ニ在リテハ夏冬兩作各々百分ノ五拾宛、又桑園ニ於テハ春蠶期百分ノ六拾、夏蠶期百分ノ四拾ト相定メタリ

第四條 乙カ第二條ノ裁定ヲ俟タスシテ收穫ニ着手シタル場合又ハ同條但書ノ期限經過後ニ於テハ如何ナル事由アルモ甲ハ賃借料減額ノ要求ニ應セサルコト

第五條 乙ハ其賃借地ニ付左ノ行爲ヲナスコトヲ禁ス

- 一、賃借地ヲ轉貸スルコト
- 二、賃借權ヲ讓渡スルコト

第六條 乙ハ其賃借地ニ就キ左ノ行爲ヲナサントスル時ハ豫メ甲ノ承諾ヲ經ルヲ要ス

- 一、畦畔、水路、水溜等ノ新設改廢
- 二、桑園及竹林ノ新設及廢止
- 三、樹木ノ栽植並ニ伐採

第七條 第十條ノ賃借契約期間滿了前ニ於テ甲カ乙ノ賃借土地ノ返還ヲ要スルトキ及乙カ甲ノ賃借土地ヲ返還セントスル場合ハ總テ小島家土地委員會ノ判定ニ俟ツヘキモノトス



甲カ乙ノ賃借土地ノ返還ヲ要スル場合ハ甲ハ小島家土地委員會ノ裁定ニ係ル作離料ヲ乙ニ支給ス但甲カ乙ニ對シテ代地ヲ交附スル場合及甲カ土地所有權ノ移轉ヲナス場合ニ於テハ此限ニ非ス

乙カ甲ノ賃借地ヲ返還セントスル場合ハ乙ハ甲ノ蒙ル損害ニ對シ小島家土地委員會ノ裁定スル賠償金ヲ支拂フモノトス但乙カ轉業スル場合及同轉住スル場合ニ於テハ此限リニ非ス

甲乙ハ協定ノ上本條第二項ノ作離料及第三項ノ賠償金ノ總額ハ其賃貸料二ケ年分ノ合計額ヲ超ユルヲ得サルモノト相定メタリ

第八條 乙カ本契約ノ義務不履行ノ場合ハ其連帶保證人某ハ乙ニ代リテ本契約ノ義務一切ヲ履行スルモノトス

第九條 乙左記各號ノ一ニ該當スル行爲アリタル時ハ甲ハ何時ニテモ本契約ヲ解除スヘク爲ニ蒙ル甲ノ損害ニ對シテハ乙及其連帶保證人ハ賠償ノ責ニ任スヘキモノトス

一、乙カ賃借料ノ納付ヲ怠リテ二ケ月ニ及ヒ甲カ更ニ一ケ月ノ期間ヲ與ヘテ催促スルニ完納セサル時  
二、乙カ第五條ノ規定ニ違背セル時

第十條 本契約ノ期間ハ大正十二年度ヨリ同十八年度ニ至ル七ケ年トス但此期間滿了前甲乙雙方ノ一方ヨリ契約解除又ハ異議ノ申立ヲ爲サ、ル時ハ更ニ期間ヲ定メテ本契約ヲ更訂繼續スルモノトス

第十一條 乙カ第一條第一號ノ規定ニヨリ愛知縣移出米検査濟米ヲ納付スル時ハ甲ハ大正十二年度ヨリ同十四年度ニ至ル三ケ年間検査費用トシテ一俵ニツキ金七錢ヲ補償ス

第十二條 本契約期間滿了前ニ於テ法令ノ制定ニヨリテ本契約ト異ル規定ノ發布施行アリタル時ハ甲乙雙方ハ其法令ノ規定ニ遵フモノトス

本契約書ハ之ヲ二通作成シ甲乙各一通宛ヲ保有スルモノナリ

大正十二年 月 日

甲土地賃貸人土地所有者 何 某 印  
乙土地賃借人土地利用者 何 某 印  
乙ノ連帶保證人 何 某 印

三重縣

一一七

地所小作引受證

(小作料滞納ノ處置、小作米品質、訴訟管轄裁判所)

(小作田畑面積  
小作料等ノ表示)



右ノ地所一年分ノ小作米ヲ右ノ通り定メ大正 年 月 日カラ 年間小作ヲ引受マシタ  
 依テ小作米ハ毎年十二月一日迄ニ三重縣令テ定メラレタ儀裝ノ合格米テ貴殿方へ運搬シテ完納シ  
 マス不合格米ハ御承諾ヲ得タ上テ無クテハ納メマセン此場合合格米トノ値違ヒ金ヲ拂ツテ御損ヲ  
 掛ケマセン、米一俵ト申スハ四斗入ヲ云フノテアリマス若シ小作米ヲ滯ラセタラ加判ノ者小作人  
 ト連帶義務引受ケ辨償シマス帶米ハ翌年八月迄ハ一俵ニ付月割ヲ以テ一ヶ月米六合ノ割ノ利子ヲ  
 附シマス其レヨリ遅レマスト其月ノ元利米ヲ其月中ノ津市合格米相場ヲ代テ代金ニ御換算下サレ  
 其翌月カラ月割ヲ以テ該代金一圓ニ付一ヶ月金一錢五厘ノ割ノ利子ヲ附シ貴殿へ支拂ヒマス但シ  
 同情スヘキ事情アルト御思考下サル時ハ利子ハ三分ノ一以内減額ヲ受ケララル事ヲ頼ミマス一年  
 分ノ小作米ノ半額以上ヲ納期カラ三ヶ月ヲ過キテモ猶ホ納メマセンタラ拙者ハ小作期限ノマタア  
 ル分テモ其期限ノ利益ヲ棄テマス小作米トシテ納メル米種ハ錦米ノ産地ハ錦米テ納メ其他ノ地ハ  
 神力ヲ標準米トシ鹽田七穂狸ノ様ナ劣等種ノモノハ納メマセン凶作ノ節ハ十月中ニ貴殿へ毛見ヲ  
 請フテ貴殿御指圖ノ日ニ立會毛見スルコトニシマス拙者カ立會ハナケレハ貴殿タテ毛見シテ下  
 サイ、毛見ニ係ラヌ田ノ免引ハ受ケラレヌ事ハ承知テアリマス凶作ノ歳ハ毛見テ有高ヲ假定シ其  
 二分ノ一ヲ其年ノ小作米トシテ納メル事トシマス稻草ハ何テモ糶一升カラ玄米五合出ル割テ算定  
 シテ下サイ、此地所御賣却ノ節ハ約束期限内テモ無條件テ異議無ク返地シテ御妨ハシマセンカ小

作期限内ノモノハ御賣却前ニ拙者へ御知ラセ下サレタイ、畑地テ立木アルモノハ買主ト合理的テ  
 相當ノ立木代價テ直接相談シマスカラ貴殿ニハ御心配ヲ掛ケマセン拙者小作中ハ此地所ノ境界ヲ  
 護リ地坪ノ減スル様ナ事ハサセマセン右地所ニ關スル畦畔堰樋ノ修繕村方出會人足蟲害驅除等ヤ  
 災以外ノ地所ニ及ホセル損害ハ小作人ノ義務トシ負擔トシマス此證書ノ小作期限カ明クト御別  
 レトナルノテアリマス萬一裁判ノ入用ナ場合ニハ安濃津區裁判所ヲ管轄裁判所トシマス  
 右之通御約束ヲシテ小作ヲ引受ケマシタ處如件

大正 年 月 日

住 所 小作人 何 某 ㊦

津市築地町 地主 何 某 殿

一一八

(小作料改定、契約解除、通知)

土地賃貸借證書



- 一、賃料一ヶ月金 卜定メ毎月其月分ヲ 日迄持參支拂申スヘク候
- 二、賃貸借期間ハ本日ヨリ向フ 箇年卜定メ申候得共一ヶ年以前ニ解除ヲ豫告セラルルトキハ明渡ノ義務アルモノト特約致候  
但期限内ト雖天災事變等ニテ建物消滅シタル時ハ本契約ハ自然解除ト可致候
- 三、賃料支拂ヲ 箇月以上怠リタル時ハ別ニ何等ノ催告並ニ契約解除ノ通知手續ヲ要セス本契約ハ其期間經過ノ日ヲ以テ當然消滅スヘキモノナルコトヲ特約致シ候
- 四、賃借人ハ土地ノ繁榮物價ノ騰貴租稅其他公課ノ増加アリタルトキハ賃料増額ノ要求ニ應ジ申スヘク候
- 五、賃借人ハ左ノ場合ニ於テハ豫メ賃貸人ノ承諾ヲ受ケ申スヘク候  
 (イ)賃借權ヲ他人ニ讓渡シ又ハ賃借地ヲ第三者ニ轉貸スルトキ (ロ)現在建物ニ對シ増減變更ヲ加フヘキ改築工事ヲ爲ストキ (ハ)賃貸借地上ノ建物ヲ他人ニ賣却スルトキ (ニ)道路、溝梁、貯水、下水ヲ新設シ又ハ之ヲ變更スルコト及近隣ノ衛生上其他ノ妨害トナルヘキ設備ヲ爲スコト
- 六、賃借人ハ左ノ場合ニ於テハ本契約ヲ直ニ解除セラレ何等異議申シ間敷候  
 (イ)第五ノ各項ニ違反シタルトキ (ロ)破産又ハ家資分散ノ決定ヲ受ケタルトキ (ハ)賃借地上ノ建物ヲ競賣又ハ差押ラレタルトキ

七、期間ノ經過其他契約解除ノ場合ニ於テ賃借人ハ土地ヲ原狀ニ回復シ返還スルモノトス  
賃借人ハ賃借地ニ付キ土揚其他ノ工事ヲ爲シタリト雖モ立退料其他損害ノ要求ヲ爲ササルモノトス

- 八、賃貸人ニ於テ任意地上建物ヲ買取ル必要生シタルトキハ賃借人ハ相當代金ヲ以テ其要求ニ應スヘキコトヲ特ニ豫メ諸約致シ置候
- 九、借地内ノ下水費・井戸費・掃除費等ノ諸費ハ賃借人ニ於テ負擔可致候
- 十、右契約ヨリ生スル通知催告等ハ賃借人ハ肩書住所ヲ以テ之ヲ爲シ若シ轉住又ハ日本内地以外ニ居住移轉スルトキ又ハ住所不明ノ時ハ其到達ノ如何ニ係ラス其肩書地又ハ通知ヲ受ケタル任所へ賃貸人ノ發信ノ日ヲ以テ其效力ノ發生スルモノナルコト特ニ豫メ承諾致シ候
- 十一、保證人ハ賃借人ト連帶シテ本契約ノ義務ヲ履行致スヘク候

大正 年 月 日

賃借人 何 某 ㊟

何年何月何日生

保證人 何 某 ㊟







ヲ更新シタルモノト見做シ更ニ一ケ年宛繼續ヲ許サル可ク尤モ貴殿ノ御望有之節ハ何時ニテモ約定ノ更新可致爲後日土地賃借證書仍テ如件

大正 年 月 日

縣 郡 村大字

賃借人 何 某 某

保證人 何 某 某

縣 郡 村大字

保證人 何 某 某

桑名郡桑名町

何 某 殿

滋 賀 縣

1110

(小作料ノ品質、契約解除)

小作證書

(田畑 小作料等ノ表示)

右貴殿所有ノ土地今般受作仕候ニ付テハ其約定條項左ノ如シ

- 一 該地受作年限ハ明治 年 月ヨリ明治 年 月迄 年間ニシテ其小作米ハ近江米同業組合檢査合格米ヲ以テ毎年無相違相納メ可申候事
- 一 一定約年限内貴殿ノ承諾ヲ得スシテ擅マ、ニ土出シ底出シ或ハ他人へ復貸一時代作等致間敷候事
- 一 年限中特別水旱ノ被害有之候節ハ隣地或ハ同類地ニ準シ雙方ノ示談ヲ以テ減米ノ方法ヲ定ムヘキ事
- 一 所有主變換御自作或ハ耕耘培養等ヲ怠リ候節ハ年限内ニ於テ返地ヲ命セラル、モ聊異議申間敷候事
- 一 臨時土地返還ノ節ハ該地ノ播種料手間賃等ハ示談ヲ以テ可相定候事

右條約仕候萬一聊ニテモ違約仕候ハハ本人ニ不拘請人ニ於テ辨償仕候仍テ小作證書如件

明治 年 月 日

東淺井郡何村大字 第



東淺井郡大郷村大字  
地主 何 某殿

某殿

一一一

(小作料ノ品質、不作時ノ小作料減額)

小作人 何 某 ⑩

同 郡同村大字 第

請人 何 某 ⑩

同 郡同村大字 第

請人 何 某 ⑩

小作證書

第一條 地主ハ其所有ニ係ル左記土地ニ付小作人ニ對シ左ノ契約ヲ締結ス

字	名地	名地目	反	別	一ヶ年小作米
第	第	第	第	第	第
番	番	番	番	番	番

第	第	第	第	第	第
番	番	番	番	番	番

第二條 小作人ハ小作料トシテ一ヶ年ニ付米 石 斗 升 合ヲ地主ニ支拂フモノトス

第三條 小作米ハ近江米同業組合検査濟ノ甲乙米ヲ以テ大字仁本木共同倉庫へ毎年十一月十三日ヨリ十二月十八日迄ニ納入スルモノトス但シ一俵ハ四斗トス

第四條 小作米ハ不可抗力ニ因リ收益ニ付損失ヲ生スルト雖モ小作米ノ免除又ハ減額ヲ請求スル事ヲ得ス但シ不可抗力ニ因ル災害ニヨリ地主ニ於テ小作米ノ輕減ヲ必要ト認メタル場合ハ此限リニ非ス

第五條 前條但書ノ場合ニアリテハ地主及地主總代小作總代立會ノ上其輕減程度ヲ定ムルモノトス



此決定額ニ對シテハ小作人ニ於テ異議ヲ唱フルコトヲ得ス

第六條 小作人ハ其小作土地ニ永久損害ヲ生スヘキ變更ヲ加フルコトヲ得ス万一耕作上ノ都合ニ

ヨリ地主ノ承認ヲ經テ土地現況ヲ變更スルモ小作權消滅ノ時又ハ地所ノ還付ヲ要スルトキハ地

主ノ希望ニヨリ契約締結當時ノ原形ニ復スルノ義務アルモノトス

第七條 小作人ハ此契約ニ依リ取得シタル小作權ヲ地主ノ承諾ヲ得スシテ他人ヘ讓與又ハ賣渡ス事ヲ得ス

第八條 此小作權存續期間ハ契約締結ノ日ヨリ滿五ケ年トス

但シ期間中ト雖モ地主ニ於テ小作人ニ不都合アリト認メタルトキ又ハ地主ニ必要ヲ生シタル場

合ニハ此小作權ヲ更新スルコトヲ得

第九條 小作人ニシテ小作權存續期間中地所ノ還付ヲナサントスルトキハ秋收後直ニ地主ニ其旨ヲ開陳スルモノトス

但シニ毛作ハ綠肥菜種麥ヲ栽培スルコトヲ得

第十條 小作人小作米ヲ納期日間ニ完納スルコトヲ得サル時又ハ地主ニ損害ヲ蒙ラシメタルトキ

ハ保證人ニ於テ相當小作米ヲ納入スルノ義務アルモノトス

右契約ヲ證スル爲此證書ヲ作成スル事如件

大正 年 月 日

蒲生郡西大路村大字何

小作人

何

某

蒲生郡西大路村大字何

蒲生郡西大路村大字何

某

保證人

何

某

蒲生郡西大路村大字何

蒲生郡西大路村大字何

某

保證人

何

某

地主

何

某

一三三

一(小作料納入ノ場所、契約解除、小作料滞納ノ處置)

小作證書

一(小作地ノ表示)

小作料

蒲生郡西大路村大字何

蒲生郡西大路村大字何

某